

# 大学 ジャーナル

FREE

vol.130 7月号

第23巻2号・通巻130号

発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2  
TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374

E-mail KYA01311@nifty.com

大学ジャーナル

UNIVERSITY JOURNAL  
ONLINE

http://univ-journal.jp



## Highlight

今号も、前号に続きW表紙!

進路のヒント 目指せ!グローバル人材

02 世界100か国からの留学生と共に学び、  
多彩な活動に参加  
ニュージーランド・カンタベリー大学03 ソーシャルイノベーター育成のための  
新しい英語学位プログラム  
早稲田大学社会科学部

デキル!学部

04 世界の諸問題について、政治・経済・共生の  
視点からアプローチ  
京都産業大学国際関係学部05 英語力に加えて、看護の対象者の多様性を理解・受容し、  
健康支援が行えるグローバル人材としての看護師の育成を  
大手前大学国際看護学部06 グローバルビジネスリーダー育成の新学部創設  
中央大学国際経営学部07 地域のコミュニティ創造をリードするために  
青山学院大学コミュニティ人間科学部08 教育の神戸松蔭に、教育学部が誕生  
神戸松蔭女子学院大学教育学部09 シリーズ 大学が地域の核になる  
京都文教大学の挑戦

10 連載 16歳からの大学論 哲子の相談室

11 京大特色入試合格者に聞く

12 大学ジャーナルオンラインから

縦組み1から3面

03 デキる!大学 専門職大学  
京都専門職大学

02 東京専門職大学

01 “大学”のこれからの挑戦する、新しい大学の形を  
2019年度の専門職大学制度のスタートによせて  
文部科学省高等教育局長 義本博司氏

J.ピタウ学長「インドシナ難民に愛の手を」の募金のため新宿駅東口に立つ(1979年)



世紀の大発見、バンテアイク遺跡から仏像274体を発掘(2001年)

## 大学トップから高校生へのメッセージ(特別編)

# 国際協力は 人と人との協力

アジアの時代といわれる今を遡ること半世紀前から、カンボジアの世界遺産の保存・修復と人材養成などの国際奉仕活動を続けてきたのが、上智大学アジア人材養成研究センター所長で、元上智大学長の石澤良昭先生。昨年8月には、その長年の活動が高く評価され、アジアのノーベル賞と言われる「ラモン・マグサイサイ賞」を授与された。受賞理由は、「アンコール・ワット遺跡の保存・修復はカンボジア人の手でなされるべきとの信念に基づき、カンボジア人の遺跡保存官や石工加工技能者の人材養成に尽力したこと、そしてその貢献によってカンボジアの人々が自国文化の誇りを取り戻すきっかけを与えたこと。またアンコール・ワット遺跡に代表される文化遺産を、国際社会が人類の至宝として保存していく重要性を広く世界に訴えたこと」とされた。カトリック大学におられたからこそ実現できたといえるその取組と活動について、そのきっかけから今日に至るまでを振り返っていただいた。



## 50年に及ぶアンコール・ワット遺跡の 保存・修復で、2017年度 ラモン・マグサイサイ賞を受賞

上智大学アジア人材養成研究センター  
所長  
石澤 良昭先生

1937年生まれ。東南アジア史を専門とする。上智大学外国語学部フランス語学科卒。パリ大学高等学術院で東南アジア碑刻学を学ぶ。文学博士。鹿児島大学教授を経て上智大学教授。同大学アジア文化研究所長、外国語学部長を歴任し、2005年から2011年まで同大学長。この間、1961年からカンボジアのアンコール・ワットの調査・研究と修復作業に従事。1980年からアンコール遺跡群の緊急調査を行う。2017年、アジアのノーベル賞と言われるラモン・マグサイサイ賞を受賞。北海道帯広三条高等学校出身。

主な著書:『アンコール・王たちの物語 一碑文・発掘成果から読み解く』(2005:NHK出版)、石澤良昭 三輪悟『カンボジア 密林の五大遺跡』(2014:連合出版)など多数。

## カンボジアからの手紙

1980年、私は、ベトナムのホーチミン空港から陸路国道1号線を経て、戦塵の煙るカンボジアのプノンペンに入り、そこから国道5号線バタンバンを経由して、3日目でようやくシェムリアップ現地へ到着しました。待っていてくれたのはアンコール遺跡保存局の局長のピッ・ケオさんでした。1970年、内戦が勃発してカンボジアに入国できなくなってから、13年の歳月を経た待ちに待った再会でした。

固く握手を交わしたその親友の手は、昔と変わらずごつごつしていました。遺跡現場での長年の修復作業を象徴するその手こそ、ボル・ポト政権のあの悲惨な知識人の粛清から彼を免れさせてくれたのです。ピッ・ケオさんは自らを農民と称し、両手をみせて難を逃れたのでした。

私がアンコール・ワットと出会ったのは、1960年、学生交流団体オーヴィット(AUVIT=Amitié Universitaire entre Vietnam-Japon-Thaïlande)という、タイ、ベトナム、日本在住のイエズス会の神父3人が企画した海外研修に参加したときでした。上智大学外国語学部フランス語学科の学生だった私は、3人の神父の一人で、上智大学でフランス語を教えていた敬愛するポール・リーチ先生に誘われ、初回の学生として参加しました。ベトナムからカンボジアへ行き、アンコール・ワットを見学し、その壮大かつ荘厳なたたずまいにびっくりし、すぐとりこになったのです。カンボジア文化省の顧問だったフランス極東学院のベルナル・グロリエ先生に頼みこみ、臨時

研究員としてカンボジアに約1年間滞在させてもらいました。その後、日本に帰国した私は、専門のフランス語とは別に、フランス東洋学を学び直すためにフランスへ留学しました。年に数か月から半年、およそ4年に亘ってカンボジア現地を訪れ、カンボジアが世界に誇るアンコール遺跡群の保存・修復について、ピッ・ケオさんをはじめ40数名の若きカンボジア人保存官(Conservator)とともに、フランス極東学院で保存修復の研修を受け、実習作業に携わりながら、共に将来の夢を共に語りあう仲間となりました。

アンコール・ワットとの出会いのきっかけをつくってくれたポール・リーチ先生は、私の1年先輩だった井上ひさしさんの小説『モッキンポット師の後始末』の主人公、モッキンポット氏のモデルとも言われるユニークな先生でした。作家サン・テグジュペリの『星の王子さま』の作品を取り上げて、〈見えぬものをよく見る〉というのが口癖でした。AUVITを企画したのも、当時のアジア現地の雰囲気と国際政治情勢とから、東南アジアは、早晩、東西冷戦構造により政治混乱がおきると予見されていて、その前に私たち学生に現地を見せておきたかったからだと思います。1964年のベトナム戦争勃発をきっかけに、ラオス、カンボジアでは内戦が始まり、AUVITは4回で中止になりました。

私が最後にカンボジアを訪れてから13年経った1980年、ピッ・ケオさんから手紙が来ました。1975年から始まったボル・ポト政権の独裁が終息した翌年です。その手紙にはこう書かれていました。「もうみんなな

くなった。日本の石澤、保存修復の手伝いに来てくれ」と。「アンコール・ワット遺跡救済」の名の下に、ボル・ポト政権後のカンボジアに、日本人として初めて足を踏み入れた私は、かつて40数名いた保存官が、ピッ・ケオさんを含め3名しか生き残っていない事実で愕然としました。ボル・ポト政府は中国の文化大革命の影響を強く受け、官僚や政治家、軍人、教員など、外国語を話す人々、いわゆるeducated peopleを次々と粛清、その数はおよそ150万にのぼると言われています※1。ボル・ポト政権の幹部は、市内から追い出した人々を集会に呼びだし、米を配るからと称して人々の手を出させ、その手から、educated peopleらしき人々をまず見分けていったと聞きました。多くの遺跡保存官は、フランス語が多少話せたことで犠牲になっていったのです。ピッ・ケオ局長は自らを農民と称し、両手をみせて難を逃れたのでした。

※1 この他、国境外へ脱出し、難民となった人々は120万人とされている。

## 新宿駅東口駅頭での募金活動

このボル・ポト政権の虐殺と、内戦によって多くの難民がタイ国境近くへ逃れ、タイの難民キャンプには戦争孤児がたくさん収容され、悲惨な生活を強いられていました。こうした状況を受けて、当時、上智大学の学長だったヨゼフ・ピタウ神父(大司教)(1928年~2014年)は、「上智大学の理念と、人間の根本にかかわることだから」と、新宿駅東口の駅頭で「インドシナ難民に愛の手を」と訴えて街頭募金活動を始めました。カンボジアでは内戦が下火になってきた

とはいえ、実効支配するヘン・サムリン派の他に、ポル・ポト派、シハヌーク派、ソン・サン派の3派が加わって4派は共に覇権を争い、一触即発の状態が続いていました。しかもベトナムの傀儡政権だったヘン・サムリン政権は国連に議席がないため、ユネスコなどの国際的な援助は受けられません。もちろん日本政府も、国交がないため公には支援ができません。そこで上智大学は、ソフィア・ミッションの名の下に、国際奉仕活動を始め、その窮状を世界へアピールしようと立ち上がったのです。

それは戦後の混乱期から高度成長期を経て落ち着きを取り戻した日本にあって、「他者のために、他者とともに」(Men and Women for Others, with Others)という、上智大学の教育の理念の実践であり、ヨゼフ・ピタウ上智大学長が1970年代から温めていた、それまでの欧米中心の国際交流から、アジアに目を向けた新しい国際交流の道を拓くという構想にそったものでもありました。こうして、1982年にはアジア文化研究所が設立され、同年私も母校の上智大学に戻りました。1994年、同研究所内に「アンコール調査室」が置かれ、1991年、産・学・官の有志により設置された「アンコール遺跡救済委員会」の事務局となりました。**※2**

**※2** 1980年の年頭にあたりピタウ学長は、上智大学の今後の方向性を、①学問的雰囲気高め、精神的なものを深める、②建学の精神に基づき永遠の価値のための教育を与える、③西洋中心の国際性から、アジアを中心に、アジアを理解し、アジアに協力するという新しい国際性を作る、という三つの基本方針を示した。

## カンボジア人によるカンボジア人のための、カンボジアの遺跡保存・修復

1979年、「インドシナ難民に愛の手を」の難民救済活動が上智大学ではじまりました。私たちは1980年代からカンボジア国内に入り、「カンボジア人の手によるアンコール・ワットの保存・修復」を国際協力(ソフィア・ミッション)の哲学に掲げ、



現地カンボジアに上智大学アジア人材養成研究センターを建設(1996年)、現地に寄り添う。

4派が和解に向けた共通テーマとするよう、アンコール・ワット西参道の修復を私たちは提案したのでしたというも、カンボジア国旗の中心にはアンコール・ワット遺跡が描かれているように、激しい内戦の最中であっても4派は遺跡を破壊することはありませんでした。「アンコール・ワットの昔に戻って平和に暮らそう」は4派が揃って唱える和解に向けてのスローガンとなりました。しかも、神々が宿る聖地とされ、全世界から注目されるアンコール・ワット遺跡の保存・修復は、カンボジアの人々に自国文化への誇りや自負、民族の自信を取り戻させるものと期待されたのです。**※3**。

アンコール・ワット遺跡の保存・修復は1908年からフランス極東学院のフランス人遺跡保存官たちによって進められ、第二次世界大戦後の1953年にカンボジアが独立するまで続きました。ただし、その考え方、進め方は、あくまでも偉大なフランスの国威発揚のためでしたから、カンボジア人は単なる作業員扱いだったのです。私たちは「カンボジア人の手によるアンコール・ワットの保存・修復」を国際協力(ソフィア・ミッション)の哲学として掲げ、内戦後の民族文化のアイデンティティ再構築と平和構築につながるものと位置付けて、カンボジア人専門家の養成を提案したのです。**※4**

そもそもカンボジア人たちには、石材加工や石積技術などの分野では、日本人には真似のできないすぐれた技術と手先の器用さがあります。また、遺跡の彫刻は美的感覚にあふれています。あの壮大なアンコール・ワットを作った人たちの末裔だから当然と言えば当然ですが、カンボジア人の祖先が培った技術力、美的感性を、私たちはアンコール・ワット遺跡の修復に活かしたい。それは、志半ばでポル・ポト政権に粛清された保存官たちへの鎮魂にもなると思ったのです。

1989年、本格的な活動を始めた私たちには、まず遺跡保存官や石材加工技能者の育成が急務でした。ポル・ポト政権による粛清で、カンボジアにはeducated peopleがいなくなっていたからです。1991年、私たちは日本の遺跡専門家、研究者たちで、夏休みや冬休みの長期休暇中に、カンボジアへ出向いて調査、研究と研修をお願いできる有志を募りました。そして、1989年に再開されたプノンペン王立芸術大学で考古学と建築学を学ぶ学生たちから、毎年10名程度を対象にアンコール・ワット遺跡のあるシムリアップで、1カ月間から40日間におよぶ集中講義と現場研修を始めました。午前中は



ロフレロ副大統領の御前で受諾演説をしているところ(フィリピン・カルチャーセンター、2017年8月31日)

発掘や保存・修復の実習、午後は講義、そして夕方にはレポート提出という日課で、学生と教員は朝から晩まで缶詰めで寝食をともにしました。1996年には現地の拠点、アジア人材養成研究センター(2002年～)の前身となるアンコール研修所を設置しました。現場研修は当初から数えて、今夏には56回を迎えます。**※5**。この間、現地を訪れた教員は延べ471人、受講した現地の学生は延べ3500人。**※6**。また現場での研修にとどまらず、深く学術研究を学び世界で通用する人材を育成しようと、現地の優秀なカンボジア人学生の日本留学を積極的に支援し、これまで上智大学大学院で博士学位を取得した者は7人、修士を取得した者は11人を数えます。

今日にいたるまで、これだけ長く遺跡・保存修復活動と人材養成を続けてこられたのは、何よりもまず、多くの日本人専門家、研究者の善意によるものであり、カンボジア人学生と日本人教員が一体となり、濃密な人間関係を作ること大事にしてきたこと。加えて、単に現場実習や研修を行うだけでなく、800年から1000年前の出土品から「目に見えないもの」をしっかりと学び、議論し、そして新たな学術研究のテーマにするなど、研修の目的を明確にし、参加意識を高めてきたからだと思えます。

研修学生のすべてが考古学や建築学の研究者になるわけではありませんが、少なくとも歴史学の方法論と、疑問があればそれを納得するまで突き詰めるという態度や忍耐力は参加者全員に養ってもらいました。また、今や、高い経済成長率を持続するカンボジアですから、現場研修に加えて、カンボジア人の持つ生まれた感性で出土品に込められた歴史を解明する、「カンボジアにおけるカンボジア的な文化発見」が生まれるような大学院レベルの実習・講義にも力を入れています。

**※3** カンボジアが、1993年に王国として再出発する際掲げた5大課題は、①戦争(内戦)の傷復からの復興、②国際社会への復帰、③脱社会主義化と市場経済への移行、④民族和解と文化アイ

デンティティの再確立、⑤貧困からの脱却、であった。**※4** 先行事例としては、エジプトのヌビア遺跡群(Nubian Monuments from Abu Simbel to Philae)、インドネシアのボロブドゥール遺跡(Borobudur)の仏跡の保存・修復事業がある。**※5** この間、2001年には、考古学の現場研修が行われていたバンテアイ・クディ遺跡内で、世紀の大発見と言われた274体の仏像発掘があった。それまでの王朝の歴史を塗り替える大発見をカンボジア人研修生が行ったと大きく報道され、ポル・ポト政権下の暗い時代を吹き飛ばし、カンボジア人が文化的自負と民族的自信を取り戻す一つのきっかけになった。**※6** プノンペン王立芸術大学における集中講義(1991年～1997年、2014年～2015年)の受講生延べ1,636人を含む。

## 多くの人の支えで

ソフィア・ミッション(上智大学国際奉仕活動)の一環として、当初は国際社会から支援のない中で始まった本プロジェクトですが、これはカトリック大学だからこそできた取組だったとも言えます。カンボジアの内戦の真只中ということもあり、現場には大学名を示す小さな看板は掲げたものの、カトリック大学の活動らしく宣伝はせず、長い年月をかけて人材を養成するという志だけでやってきました。それが国際社会に少しずつ認められるようになり、昨年には「ラモン・マグサイサイ賞」というアセアン地域での高い評価につながったものと思っています。

個人としての受賞でしたが、これまで長期休暇中にカンボジアへ出向いてくださった多数の先生方の奉仕活動がなければ、続けられなかったことは言うまでもありません。また大学という枠組があればこそ、社会から信用も得られ、多くの民間企業の善意をいただくこともできました。ある時期からは、大学に対して国の支援もいただけるようになりましたが、それはこの活動を全面的に後押ししてくれた前理事長の高祖敏明先生をはじめ大学執行部のみなさんのおかげであると思っています。

また明治維新以降、「脱亜入欧」を掲げ、アジアの中にあって一人だけ、その目を外に向けてきた日本に対して、1955年のバンドン会議(アジア・アフリカ会議)あたりからアジアの時代を予見し、戦争への反省を風化させないためにも、そこに目を向けさせようとしたヨゼフ・ピタウ神父(大司教)の慧眼と信念、その行動にあらためて敬意を表したいと思えます。

今はITの進化で世界のどこにいてもコミュニケーションのとれる世の中です。しかし、ともに向き合い寝食を共にするくらいでないと、人と人との信頼関係は生まれません。そして結ばれた人と人とが協力することが国際協力への第一歩と考えています。

## 世界100カ国からの留学生と共に学び、多彩な活動に参加

豊かな自然と恵まれた気候で、旅行者に人気のニュージーランド。しかし大学の実態についてはあまり知られていない。この度、東京都市大学との新たな連携プログラムの調定のために来日された学長ロッド・カー(Rod Carr)博士と副学長ゲイル・ギロン(Gail Gillon)博士に、ニュージーランドの大学事情、カンタベリー大学で学ぶことの魅力、東京都市大学との連携プログラムについてお話をうかがいました。



カンタベリー大学

●カンタベリー大学は、国立の総合大学であり、広大な敷地に立つ美しいキャンパスに6つの学生寮を保有します。  
●1873年にオックスフォード大学とケンブリッジ大学の学者達によって設立された、ニュージーランドで2番目に古い大学です。  
●資格は学士、優等学位、修士課程(1年のコースを含む)、博士課程、学士号取得者に認められる大学院での資格取得(6か月及び1年)  
●学部・学科:120を超える多岐にわたる分野の学科(商業、芸術、教育、土木、森林、人文、社会科学、法律、科学等)  
●日本の高校から直接入学できるオプションあり

学生数(2016年アンニュアルレポート)

<http://www.canterbury.ac.nz/media/documents/annual-reports/annual-report-2016-2016-at-a-glance.pdf>

●学生数17000人。

URL [www.canterbury.ac.nz/international/](http://www.canterbury.ac.nz/international/)



ロッド・カー  
カンタベリー大学 学長

商業銀行で11年間キャリアを積み、上級経営幹部、マネジメント職を歴任した後、ニュージーランド準備銀行(中央銀行)ディレクターおよび副総裁として5年間勤務。5か月間は総裁代行を務めた。ジェイド・ソフトウェア・コーポレーションのマネージングディレクターを経て、2009年より現職。保険およびリスク管理での博士号、マネーと金融市場でのMBA、応用経済学・経営科学での修士号、法学・経済学での学士号を持つ。カンタベリー雇用主商工会議所ディレクター、クライストチャーチ震災復興基金(Christchurch Earthquake Appeal Trust)理事としても活躍。



ゲイル・ギロン  
カンタベリー大学 副学長  
(教育・保健・人間開発)

哲学博士(クイーンズランド大学)。すべての子どもが人生のよきスタートを迎えられるよう、現在10年間にわたる研究プログラム「Better Start National Science Challenge」の共同ディレクターを務める。研究分野は言語発達における、話すこと・書くことの関係性で、特に読みや綴りの発達に伴う子供の首顔意識の重要性に焦点を当てている。

## UCについて

ニュージーランドに私立大学はなく、国立大学が8校あります。UCはそのうちの1校で、1873年にオックスフォード大学とケンブリッジ大学の教授たちによって、ニュージーランド南島中部に位置するクライストチャーチに創立されました。現在、Arts, Business & Law, Education, Health & Human Development, Engineering, Scienceの5学部を有する総合大学で、およそ17,000人の学生が学んでいます。QS世界大学ランキングではトップ1%内にランキング、専攻別には15の専攻が世界のトップ200に入るなど、高い質の教育を誇り、数多くの

研究者や政治家を輩出しています。

UCの大学教職員にはビジネスや行政などの最先端で活躍している人たちも含まれています。

## ニュージーランドの進学事情

国立大学8校は全てQS世界大学ランキングでトップ3%内にランキングされています。この他に、工科大学・ポリテクニクが16校、ニュージーランド資格庁の認可を受けた私立高等教育機関が200校以上あります。高校生の高等教育機関への進学率は70%で、そのうちの半分が大学に進学しています。

## 東京都市大との連携について

進路のヒント **目指せ! グローバル人材**

# ソーシャルイノベーター育成のための新しい英語学位プログラム “TAISI”で「内なる留学」を

国内生15名を募集する「グローバル入試」の出願迫る

早稲田大学社会科学部は、新たな英語学位プログラム※1「ソーシャルイノベーションプログラム(通称TAISI)※2」を開設、2019年から日本国内の高校出身者にも門戸を開く。そのために、従来の「帰国生入試」にかわる「グローバル入試」を新たに実施する。一連の改革について、社会科学総合学術院長・社会科学部長の山田満先生や国際化推進を担当する黒川哲志先生など、社会科学総合学術院のみなさんにお聞きしました。

## 新しい英語学位プログラムで国際社会に貢献する「ソーシャルイノベーター」の育成を目指す

設立から半世紀以上、社会科学部は、様々な専門分野を統合的・学際的に一体化したカリキュラムで学べる場であることを大きな特徴として展開してきました。私大文系ではトップクラスの人気を誇る今も、《社会科学の総合》を目指す《社会に開かれた学部》として、学際・臨床・国際の三つの理念を掲げ、《社会構想力》をもった人材の育成を図っています。

社会科学部での英語学位プログラム導入は、海外からの留学生・帰国生を対象にした2011年開設の「現代日本学プログラム」※3が契機。TAISIプログラムではそれを発展的に再編・拡大し、定員を20名から60名に増やし、入学時期も9月と4月の2回としました。

TAISIプログラムが目指すのは、複雑化するグローバル社会で、「大志」を抱き自ら課題を明らかにし、解決策を打ち出すとともに、周囲を巻き込みながらその実現を図る《ソーシャルイノベーター》の育成です。社会構想力を身につけ、様々な社会課題を総合的に解決できる、グローバル時代の「社会学」らしい人材、と言い換えてもいいかもしれません。

カリキュラムは、社会学の「学際性」を活かした4つの専門領域※4を軸に、30名程度の少人数授業を中心に展開します。一

番の特徴は、社会学の持ち味である「臨床」を実現するべく、「フィールドワーク」を積極的に取り入れること。国内に限らず、インドネシアや東ティモールなど海外でのフィールドワークも予定しています。さらに、海外留学・海外インターンシップにもチャレンジしやすい環境を整備し、特に長期留学を積極的に奨励していきます。

TAISIプログラムの入試制度は、①日本国内の高校出身者を主な対象とする「グローバル入試」、②海外の高校出身者を主な対象とする「英語学位プログラム AO 入試」と、大きく2種類あります。①グローバル入試は4月入学:15名、②英語学位プログラム AO 入試は4月入学:5名、9月入学40名を募集します。私たちが求めるのは、国際社会に貢献する人材になるという高い志を持った熱い受験生。特に日本国内の高校生には、アジアを中心に世界各国から集まる様々なバックグラウンドを持った仲間と相互に刺激し合う環境に身を置き、いわば「内なる留学」を体験することで、世界に貢献するソーシャルイノベーターを目指してほしいと願っています。

## グローバル入試とは

グローバル入試には、大きく二つの役割があります。一つは、国際社会に貢献する志をもつ国内高校の出身者を TAIISI プログラムに受け入れること。もう一つは、いわゆる「帰国生」のように、豊富な海外経験を持つ人材を日本語学位プログラム(以下、一般プ



早稲田大学社会科学部  
学部長  
**山田 満 先生**

### Profile

東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得退学。オハイオ大学大学院国際関係研究科東南アジア研究修士。博士(政治学)。埼玉大学教授、東洋英和女学院大学教授、東ティモール国立大学客員研究員などを経て、2009年から現職。専門は、国際関係論、平和構築論、東南アジアの政治。著書に、『東南アジアの紛争予防と「人間の安全保障」』(編著・2016:明石書店)、『難民を知るための基礎知識』(編著・2017:明石書店)など他多数。



早稲田大学社会科学部  
教務副担当(国際関係)  
**黒川 哲志 先生**

### Profile

早稲田大学政治経済学部卒。京都大学大学院法学研究科博士課程単位認定退学。博士(法学)。帝塚山大学助教授、米デューク・ロー・スクール訪問研究員等を経て、2004年より現職。専門は、環境法と行政法。おもな著作に、『環境行政の法理と手法』(2004:成文堂)、『環境法のフロンティア』(共編・2015:成文堂)などがある。

ログラム)に受け入れることです。募集定員は TAIISI プログラムが15名、一般プログラムが若干名。いずれも4月入学で、出願時に受験生がどちらかを選択します。

出願期間は8月1日~7日で試験は9月9日。試験は日本語による小論文で、別途、所定の英語検定試験※5のスコアが必要です。これに加えて、TAISI プログラム志願者には英語のエッセイを、一般プログラムの志願者には海外活動報告書と海外活動経歴証明書の提出を求めます。また、TAISI プログラムでは入学直後から《英語で》学ぶことになるため、CEFR B2以上のスコアを出願要件として設定しています。

今回の TAIISI プログラム開設やグローバル入試導入の背景には、国内の高校生や高等学校の変化があります。近年は、国内の高校から直接海外の大学を目指す生徒も少しずつ増えていますが、経済的負担やリスクの観点から国内の大学に一旦進学し、学部課程中に交換留学に行ったり、大学院で海外留学したりすることをオプションとする受験生も少なくないはず。TAISI プログラムはその受け皿として最適な選択肢の一つになると自負していますから、国際的なキャリアを目指す高校生には、ぜひ「グローバル入試×TAISI プログラム」にチャレンジしてほしいと思います。

さらに近年は、国内の高等学校では SGH ※6 や IB 校 ※7 をはじめ、先進的なグローバル教育を実践する高校が増えていきます。また、海外で教育を受けた生徒が帰国する際に、インターナショナルスクールではなく、通常の高校の国際コースに進学・編入するケースも増えていると私たちは捉えています。一方で、社会科学部の従来の帰国生入試では、少なくとも高2、高3で海外の高

校に在籍していたことを出願要件としていたため、それに当てはまらずに受験できない「帰国生」も少なくありませんでした。日本人の海外進出が進むのにもない、一口に帰国生とは言いがたれないくらい、その学歴は多様になっていると思われますから、高大接続の観点からも、こうした高校や高校生にこのような入試や教育プログラムを用意することは急務だと判断したのです。

TAISI プログラムでは、すでに行われた英語学位プログラム AO 入試(2018年9月入学)において、40名の募集定員に対して志願者は261名にのぼりました。定員の増加分を加味しても予想以上の反響があり、従来よりも更に優秀な学生が世界から集まっています。TAISI プログラムが、その革新性で社会科学部全体の多様化とグローバル化を牽引し、さらには日本の大学の閉塞状況を突破するのにすこしでも貢献できればと願っています。

入試や学位の選び方はWEBサイトの仮想ケースなども参考に。https://www.waseda.jp/fsss/sss/news/2017/05/29/7099/

※1 英語学位プログラムは、英語による授業の履修だけで学位を取得できる(卒業できる)プログラムで、その割合が大学のグローバル化の指標の一つとされる。

※2 Transnational And Interdisciplinary studies in Social Innovation の略称。明治150年ということもあり、ウィリアム・クラーク博士のBoys, be ambitious.の言葉にもかけている。

※3 大学の国際化をめざすG30の一環。グローバル30は大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業で、2020年を目途に30万人の留学生受入れを目指す「留学生30万人計画」の一環。

※4 ①持続可能な社会・都市・地域の実現に必要な知識や手法を学ぶCommunity & Social Development、②平和な社会を構築する上で必要な国際協力の在り方を平和研究の視点から学ぶPeace Building & International Cooperation、③経済的な視点から国際貿易や環境問題について学ぶEconomic & Environmental Sustainability、④社会の活性化に寄与する組織としての企業・団体などの活動を労働問題や社会保障を絡め学ぶSocial Organizations & Workingの4領域。

※5 英検、TEAP、IELTS Academic Test、TOEFL iBTのいずれか。

※6 スーパーグローバルハイスクール

※7 国際バカロレア認定校

UCのCollege of Educationと東京都市大学とは、2009年に協定を締結し、人間科学部の幼児教育研修プログラムにおいて、幼稚園・小学校の教員を目指す(都市大の)学生がカンタベリー大学で学んできました。このプログラムでは、UCで英語を勉強するだけでなく、ニュージーランドの学校を訪問したり、そこで授業を見学・体験したりします。

## 東京都市大学との新たな連携プログラム

今回の東京都市大学&カンタベリー大学留学プログラム(TUCP)は、サポートシステムも含め、東京都市大学の学生のためにつくられたカスタムメイドのプログラムで、工学系の学生を中心に、45名の学生が16週間UCで学びます。(※16週間は1セメスターに相当)。このプログラムは今年8月からスタートします。

TOEIC600点以上が応募条件です。プログラムは主に3つの要素からなっています。最初の4週間はUC敷設語学学校で専門科目を受講するための英語力を身につけます。その後UCの正規開講科目の専門科目や教養科目から2科目を選び9週間にわたってUCの学生とともに学びます。最後にロボ工学を含むラボラ

トリーワークなど、専門分野の集中講義を2週間受けます。こうして受講した科目の単位は東京都市大学の単位に互換認定されます。

プログラムへの参加期間中は大学に近接する学生寮アイラム・アパート(Illam Apartments)に滞在します。この寮は850人あまりの学生が入居しており、寮生との交流もこのプログラムの魅力の1つです。

プログラム参加中は、スポーツや学生パーティーなど大学の様々な活動にも参加します。また、地元ラグビーチームの試合観戦、寮の活動など、多様な活動に参加して学生との交流を図ります。

プログラムのスタート時は募集人員45名ですが、2020年には100名の学生をUCに迎える計画になっています。

## 東京都市大学とのさらなる交流

また、UCでスポーツ・コーチングを学んでいる数名の学生が、今後東京都市大学のラグビー部においてインターンシップを行う予定があり、反対に東京都市大学の留学支援制度を利用し、教員がUCに1年滞在中のことがあります。

## 日本との交流

スポーツ・コーチングが専門分野であるリチャード・ラト教授は、以前日本でラグビーを教えていたことがあります。UCではこの他にも様々な日本との交流を行っています。また、園田学園女子大学とは30年来の交流があります。毎年、UCの10~15人程度の学生が来日園田学園女子大学で2週間、文化的な側面も含めて日本の幼児、児童教育を学んでいます。さらに、2020年には園田学園女子大学の学生120人がUCで英語を学ぶという計画もあります。このように日本との交流を非常に重要視しており、今後も東京都市大学、園田学園女子大学との交流の質を高めていきたいと考えています。

## UCの国際化

現在UCの在籍生約17,000人のうち、1,800人は世界100か国から来た留学生です。そのうち博士課程は400人、残り修士か学部生です。また学部生として中国から350人、米国から250人、インドから150人の留学生が学んでいます。今後、東京都市大学、園田学園女子大からの留学生が同程度になれば、他の国・地域からの留学生と比較しても、ちょうどよいバラ

ンスの構成になると考えています。

UCの国際化は教員に関しても実現されています。教授の半分は海外で生まれたか、海外で学んだ経験があります。また、オックスフォード大学やケンブリッジ大学を含む世界中の大学との教員交流プログラムや、UCの基金を活用して、海外の教員が最大6か月間UCで学ぶことができるシステムもあります。その他、ノーベル賞受賞者などを招聘し、毎年75の国際的な学術講演も実施しています。

## 日本からの留学生がカンタベリー大学で学ぶメリット

UCはQS世界大学ランキングTOP 1%に入る大学であり、世界トップクラスの教授陣から学ぶことは大きな価値があると考えます。また、UCでは多くの学生が協働して学ぶということ、学んだことを応用していくことに注力しています。世界トップクラスの大学でトップレベルの優秀な教授陣から、日本とは異なる学び方ができると考えます。

加えて学生街のコミュニティの中で生活できるのも、留学生にとっては貴重な体験機会が提供されていると言えます。

進路の  
ヒント

目指せ! グローバル人材

デキル! 学部

京都産業大学国際関係学部

# 世界の諸問題について、 政治・経済・共生の視点からアプローチ

2030年に向けた施策「神山STYLE2030」を掲げて改革を加速する京都産業大学。

2019年度には国際関係学部、生命科学部、経営学部の3学部を同時に開設します。

このうち、外国語学部国際関係学科の取り組みを進展させ、グローバル人材育成により力を入れるのが国際関係学部。

「英語力だけで国際化を語る時代は終わった」と語る学部長就任予定の鈴木清巳教授に、新学部の構想をお聞きました。



京都産業大学 国際関係学部  
学部長就任予定  
鈴木 清巳 教授

## Profile

早稲田大学法学部出身、同大学院社会科学研究所。名古屋大学大学院法学研究科。1996-2001 名古屋市立大学研究員。2001-2003 広島修道大学助教授。2003-2008 広島修道大学教授。2008~京都産業大学教授。現在に至る。研究分野は通商政策、EU経済、国際経済関係論、インターナショナルリズム。名古屋国立尚高等学校出身。

## 新しい国際関係学部の3つの特徴

新学部の第一の特徴は、大学での学びと実社会をつなげること、そのために科目間の有機的なつながりを重視したカリキュラムを編成したことにあります。

国際関係学は、様々な専門領域が相互に関連し合って成り立つ学問であるとともに、実践的な学びが欠かせないものですから、科目間の有機的連携はもとより、学びの拠点である教室と国際関係の展開される現場、座学と海外でのフィールドリサーチが学問的な体系の中にきちんと位置付けられ、相互に関連付けられている必要があります。

この点、新学部は全教員が社会科学系の専門家ということもあり、海外でのフィールド・リサーチ一つにしても、事前・事後の学習も含めて専攻する学問との入念な整合性が図られています。理論と実践の統一に全教員が責任を持つと言い換えてもいいかもしれません。



二つ目の特徴は、リサーチの対象となる国や地域を広げ、科目や実習先も増やすことです。これまではアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドといった英語圏の国が中心でしたが、新学部ではタイ、マレーシア、ベトナム、カンボジア、インドネシアなどの東南アジアも加わります。民間企業の海外勤務者の6割から7割が東南アジアや中国・韓国を中心に活躍していることからわかるように、ビジネスの現場では近年、東アジアのウェイトが益々高まっています。もちろんアジアは歴史的にも欧米との関係の強い地域ですから、そこでの実習を通して先進国と発展途

上国の関係について学ぶことも可能です。

三つ目は、英語力を高めることはもちろんですが、専門性を深めることの方に重点を置く点です。AIの発達により、語学のあり方は今後大きく変わりますが、英語の重要性は当分は変わりません。入学直後のプレースメントテストによるクラス分けを通じた、各学生に合わせた英語力の強化の方針などは従来通りです。ただ、英語力については、異文化を学び、体験を重ねることで、自ずとその重要性、必要性についての認識は深まり、学びの目的の明確化とともに身に付けてくるものだというスタンスを取りたいと考えています。

## 英語力に加えて、柔軟なコース制、 一拠点総合大学の特徴を活かして、 幅広い教養と、深みのある専門性が 身につく

具体的には、「政治」「経済」「共生」の3つのコースからなる1学科制の緩やかなコース制とします。政治コースでは、外交、軍事、安全保障、国際法などを、経済コースでは貿易やビジネス、金融などを、共生コースでは環境問題、移民・難民の問題、男女平等や人種・民族や人権の問題などを、SDGs (Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)) を念頭に学ぶといったように、複雑な国際関係を3つの視点から捉えます。このように学びの方向性を定めることで、目的を持って体系的に学びやすく、卒業後の進路の目標も立てやすいと考えました。また国際系の学生は採用面接時に、「国際関係と言っても、何を学んできたのか?」とよく質問されますが、そのような状況にも対応しやすいと思います。

コースへの分属は2年次から。それぞれのコースで専門科目を深く学びつつ、北米、東南アジア、アフリカなどの地域研究科目を学び、4年次には国際関係の学びの集大成としての卒業研究へと進みます。

緩やかなコース制ですから、他コースに置かれた科目も学びやすく、しかも一拠点総合大学の良さを

活かして、たとえば経済コースに所属し、経営学の専門科目を学ぶために経営学部の授業を受講することもできますし、さらには環境問題や生態系について学ぶため、理系の学部で学ぶこともできます。

翻って1年次では、各コース選択の前提となる基礎的知識と、英語を中心とした外国語の基礎を徹底的に学びます。また2年次以降の本格的なゼミへ向けてのスキルなどを学ぶゼミも置かれます。

## 世界の現実を見て、感じ、考えることのできるプログラムが充実。 新たな学び舎「真理館」には スチューデント・コモンズも

2008年の外国語学部国際関係学科開設以来、続いているのが1年次の春休みに3週間で行う必修の「海外フィールドリサーチ」(費用は学費に含まれている)。新学部ではこれに、2年次以降の選択科目として、2~3週間、アジアの発展途上国の企業やNPO、NGOでインターンシップなどを行う「国際キャリア開発リサーチ」が加わります。いずれも短期間ながら、世界各国で、ダイナミックに変化する現場を体験できるのが特徴です。前者は1年次の学びの締めくくりの春休中に行われますが、2年次以降の専門コースでの学びを動機付け、後者や次に紹介する長期留学へとつなげるものと位置付けています。

また2年次以降は、半年から1年の「長期留学」が可能です。「海外フィールドリサーチ」の延長線上に、「国際キャリア開発リサーチ」と「長期留学」を位置づけ、更なる海外での学びと体験を深める機会として、自分なりの問題意識、課題をもって、しかるべき地域・国を選んで積極的に活用してほしいと考えています。

新学部のために新たな校舎が設けられるのも大きな特長です。その名も「真理館」。国際関係の学びには、社会科学系の中でも特に、世界の人々と意見をたたかわせる機会が多いため、ディスカッションやディベート、総じてアクティブラーニングが必要です。



真理館にはそうした学びを想定した「スチューデント・コモンズ」など、新しい学びの空間を設けます。スチューデント・コモンズでは、刻々と変わる世界情勢について教員がタイムリーなレクチャーや問題提起をし、学生同士で議論を深める機会を提供したり、海外から帰国した学生が報告会を開いたり、就職活動でグローバルな進路を選択した先輩から話を聞くワークショップを開いたり、タイムリーなイベントを適宜行っていきたいと考えています。

## 受験生へのメッセージ

とにかく夢を大きく持ってほしい。夢は、大きければ大きいほどいい。

大学には、高校生は想像できないほど、学生を成長させられるたくさんのチャンスや制度があります。それらを上手に使えば、大学の4年間で実現できることはたくさんあります。大学は、大きな夢に向けて飛躍するためのジャンプ台なのです。

大学入試改革に向けてみなさんの耳には様々な情報が入ってきているかもしれませんが、高校時代でできること、すべきことはどんなに状況が変わろうとそれほど変わりません。好奇心を持って世界の動きに注目し、国際関係を学ぶのに必要な英語の基礎力を固め、幅広い教養を身につけるのに高校時代ほどふさわしい時期はありません。これからの社会ですます求められる真のグローバル人材を目指して、しっかりと準備してきてほしいですし、そういう高校生を国際関係学部では求めています。

## 2019年4月、3つの新しい学びが始まる。

まだ世界にない、  
つながりを。

**国際関係学部**  
国際関係学科

生命のその先に、  
未来の社会を創造する。

**生命科学部**  
先端生命科学科  
産業生命科学科

マネジメントは、  
あなたと社会を変える力。

**経営学部**  
マネジメント学科  
3学科体制から  
1学科体制に再編します。

むすんで、うみだす。  
**京都産業大学**

経済学部 経営学部<sup>※1</sup> NEW 法学部 現代社会学部 国際関係学部<sup>※2</sup> NEW 外国語学部 文化学部 理学部 情報理工学部 生命科学部<sup>※2</sup> NEW  
※1: 2019年4月学科再編 ※2: 2019年4月学部新設

入学センター 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL.075-705-1437

<https://www.kyoto-su.ac.jp>

**デキル!学部** 大手前大学 2019年4月「国際看護学部」開設(仮称・設置認可申請中)

# 英語力に加えて、看護の対象者の多様性を理解・受容し、健康支援が行えるグローバル人材としての看護師の育成を

日本初となる国際看護学部が養成するこれからの時代に必要とされる看護師とは

海外との交流拠点でもある国際都市大阪。近年は外国人旅行者が急増する国際観光都市でもあります。

その中心、大阪城を間近にのぞむ地でキャンパスのリニューアルを進めるのが大手前大学。

来春に竣工する新棟には、日本初となる「国際看護学部(仮称)」(定員80名予定)を開設します。

《国籍・地域・民族・宗教・年齢・性別を問わず学ぶ機会を提供し、建学の精神である「STUDY FOR LIFE(生涯にわたる、人生のための学び)」を実現する》

ことを目指す大手前大学の、5番目の学部となる国際看護学部とは。

《グローバル人材としての看護師》をコンセプトに、次世代の看護師養成を図る取組についてご紹介します。



## 今なぜ「国際看護学部」なのか

グローバル化の波は、日本の医療現場にも急速に押し寄せています。日本を訪れる外国人は昨年2800万人を超え、2020年には約4000万人に達すると予想されています<sup>※1</sup>。当然病院を訪れる外国人患者も増えており、ある調査では78.6%の病院が外国人患者を受け入れたことがあると答えています<sup>※2</sup>。また、定住外国人も年々増加しています。中でも大都市を抱える東京・大阪・愛知の3都府県には、2016年末で全国の定住外国人の約4割が住むとされ<sup>※3</sup>、それに比例して医療現場を訪れる外国人患者の数も多いと考えられます。外国人患者の受け入れにあたっては、外国語による会話に加えて、文化や生活習慣の違いによる言葉の意味の取り違いなど、対応の難しさを感じている医療機関が多くあります<sup>※4</sup>。外国人患者となりうる、移民、難民、国際結婚などによる定住外国人や、観光、ビジネス、留学、医療ツーリズムでの訪日外国人の持つ価値観や文化的背景を理解した対応が、今後ますます求められていきます。それに加えて、出張、留学、駐在中の在外日本人・渡航者もまた、多様な患者像という観点からは、多様な歴史と文化を内包する日本人も含めて考える必要があります。

日本語を理解しない外国人に象徴される多様な患者に対応できる医療現場の改革、国際化が急がれるとともに、多文化理解に基づいて外国人患者に寄り添える看護師の養成は急務と言われています。

※1 日本政府観光局(JNTO)発表統計より。  
 ※2 社団法人日本病院会の「医療の国際展開に関する現状調査」の結果報告書  
 ※3 法務省ウェブサイト「平成28年末における在留外国人数について(確定値)」参考。  
 ※4 2017年大阪府看護協会による

## 看護師養成とグローバル教育を追求

日本初となる国際看護学部の教育のキーワードは「多様性のある文化を理解・受容し、健康支援が行えるグローバル人材としての看護師」。大手前大学によれば、地球を一つの「人々が暮らす地域」(または、多様なバックグラウンドを認め合い、適度な距離をもって共生する「ボーダーレス」な社会)と考え、多様な人々のニーズに応じた看護ができることとされます。看護師養成<sup>※5</sup>とグローバル教育を両輪とし、「看護と医療の知識・技術」の習得に加えて、「英語力を含むコミュニケーション能力」「人権意識」「社会人基礎力」「多様性への理解・受容」「使命感・倫理観」「体力・精神」を身につけた、これからの時代に活躍できる看護のプロフェッショナル、確実な知識と技術を持ち、医師や薬剤師などからもリスペクトされる看護のスペシャリストを輩出したいとしています。

ベースになるのは、「リベラルアーツ教育」「実践的教育」「国際性の涵養」という、大手前大学が50年以上にわたって培ってきた三つの学びの柱。「リベラルアーツ教育」は、地域で暮らす人々の多様性に目を向け、異なる考えを持つ人とのコミュニケーション能力や課題解決能力を養います。

※5 看護師学校指定申請中

## 豊富な実習と多様な実習先、基礎から学びやすいカリキュラム

看護師とグローバル人材の育成を両立させるために、教員には海外で学位を取得した者をはじめ、医療や多国籍文化の実態を経験するなど、グローバルな勤務経験が豊富な者を揃えています。

カリキュラムでは、理系も文系も同じスタートラインに立つのが大きな特長です。看護に求められる理系科目は

高校までのものとは異なり、文系の学生であっても入学後に十分修得できる内容とレベルであり、カリキュラム全体も、看護師国家試験合格に的を絞ることで、無駄なく丁寧に学ぶことができるといえます。

グローバル人材の基礎力を作る英語教育では、まず、医療機関を利用する立場の外国人が日常生活で使う英語を学びます。次に医療現場でよく使われる単語の修得から、患者と交わす会話の訓練に加えて、実際の看護の場面を想定したロールプレイを行います。また看護の現場では、病状だけでなく、患者の置かれた状況や環境を認識した上で、相手の気持ちを尊重しながら対応するコミュニケーション力が欠かせませんから、イラストやボディランゲージを駆使したノンバーバルなコミュニケーションについても学びます。3年次には学術交流協定を結ぶ4ヶ国・地域の1大学3病院《フィリピンのPhilippine General Hospital、タイのチェンマイ大学(Chiang Mai University)病院、シンガポールのInstitute of Mental Health and Hospital、台湾の慈濟科技大学(Tzu Chi University of Science and Technology)》で実習を行い、現地の学生との交流も図ります。卒業時には医学・医療に特化した「日本医学英語検定試験」<sup>※6</sup>の合格も目指すとのことです。

※6 日本医学英語教育学会が主催する医学・医療に特化した英語検定試験。医療の現場で求められる実践的な英語運用能力を総合的に測る。医療従事者や医療系学生だけでなく、様々な業界で働く人も受験している。

## 講義、演習、臨地実習を繰り返す

看護師養成とグローバル教育の二つを同時に追求するために用意されるのが、1年次から4年次まで、「講義→演習→臨地実習」を毎年繰り返す独自のプログラムです。

1年次には、阪神地区の定住外国人の多様性や健康支援のあり方を学ぶため、神戸定住外国人支援セ

ンターやたかとりコミュニティセンター等の施設で実習を行います。2年次は、訪日外国人に対する看護を学ぶために、りんくう総合医療センターや関西空港検問所などで実習を行います。3年次は、国内では徒歩圏内にある大手前病院や大阪国際がんセンターで先端医療についての理解を深めたり、子どもから高齢者まで多様な患者の通う医療法人や助産所などで実習を行うほか、前述の海外実習も学生全員が参加します。4年次は、それまでに学んだ知識や技術をより専門的なレベルまで高めることを目的にしますが、成績優秀な学生は、チェンマイ大学病院での2週間のケーススタディーに参加できるとのことです。

## これからの医療を担う《グローバル人材としての看護師》となるために

これからの看護職には、深い専門知識や高度な技術に加えて、国際化する現場で直面するさまざまな困難に対応できる柔軟な思考力や精神力、体力が求められます。このことは、離職率が高いといわれる看護の世界では長年課題とされてきたことでもあり、大手前大学国際看護学部では看護の知識・技術とグローバル人材として必要な資質を有する、《へこたれない看護師》の養成に力を入れたいとしています。またグローバル化、国際化する日本において、多様性の理解や人権を尊重する考え方を重視し、経済的に医療機関の受診が難しい人々の健康を支えるNPO法人での実習も積極的に行います。海外へ行けば私たちが、自らが外国人となり、時には差別の対象となるかもしれません。豊かな環境で育った今の若者たちにとって、社会的弱者の立場やその痛みを理解し、彼らに寄り添う経験はとても大事です。大手前大学では、それこそがグローバルナースングの原点であり、そこをへこたれない看護師としての出発点にしたいとしています。

# これからの看護はグローバルナースング<sup>★</sup>の時代へ。日本初となる国際看護学部(仮称)を設置認可申請中

世界の政治経済のめまぐるしい変化により、世界中の人々が自国以外の地域を訪れ、暮らす時代。これからの日本にもますます多くの外国人が滞在、定住することは明らかです。それに伴い今後更に求められるのが、多様性のある文化を理解、受容し、健康支援が行えるグローバル人材としての看護師です。

★大手前大学では、地球をひとつの「人々が暮らす地域」として考え、「多様性を有する人」すべてを看護する人と考えています。  
 ※看護師学校指定申請中  
 ※上記の内容は予定であり、変更する場合があります。

今、いちばん、アタラシイ、看護を学ぶ

**大手前大学**

総合文化学部 / メディア・芸術学部 / 現代社会学部 / 健康栄養学部  
 ※国際看護学部(仮称)の学舎は「大阪大手前キャンパス」(大阪市中央区)になります。

大手前オープンキャンパス

これからの日本の看護を学ぶ、「国際看護学部」とは?

## 大手前オープンキャンパス

7/21 7/22 8/4 8/5 8/18 8/19 9/23 10/21  
 14:00~17:00 10:30~14:30 10:30~14:30 10:30~14:30 10:30~14:30 10:00~13:00 10:00~13:00

開催場所 いたみ稲野キャンパス  阪急伊丹線「稲野駅」下車【徒歩約1分】 JR聖徳線「稲名寺駅」下車【徒歩約5分】

○大手前短期大学のオープンキャンパスも同日開催! お問い合わせ: 大手前大学 アドミッションズ オフィス TEL 0798-36-2532



進路の  
ヒント

目指せ! グローバル人材

デキル! 学部

中央大学国際経営学部(2019年開設)

# グローバルビジネスリーダー 育成の新学部創設

2019年4月、26年ぶりに中央大学に新学部が設立されます。設立されるのは国際経営学部(定員300名・多摩キャンパス)。グローバル化が加速するビジネスの担い手として、「ビジネスとエコノミクスの幅広い知識に加え、高度な英語運用能力と国際的ビジネス感覚を身に着けたグローバルビジネスリーダー」の育成を目指します。

## 国際経営学部はここが違う!

国際経営学部の特色ある学びのポイントは3つあります。

1つはカリキュラム。以下の8つの知識・スキルを体系的に学ぶカリキュラムです。

①国際的に企業が成長するための戦略的思考 ②外国語でのコミュニケーション力 ③コラボレーション(チームワーク)力 ④グローバルな認識と地域および地球規模の市民としての意識 ⑤情報統計等の知識 ⑥数学、宗教、倫理、科学、歴史といった分野への理解 ⑦創造性 ⑧各地域や文化の特性への理解。

これらを、総合教育科目(基礎教養・情報統計)、専門科目(国際経営スタンダード、企業経営、グローバル経済、国際地域研究)、グローバル人材科目(外国語、コミュニケーションスキル)の3つの科目群から体系的に学び、さらに、能動的に学ぶために演習(ゼミ)も取り入れていきます。

2つめは経営学および経済学を英語、中国

語でも学ぶことです。国際ビジネス言語である英語だけでなく、中国語による授業を複数設置、ゼミも英語や中国語で行い、実践的な語学力を身に付けられます。

ポイントの3つめは海外での学びです。新学部では、海外インターンシップ等のアクティブ・ラーニング、フィールドスタディ科目を設け、現地・現場で学ぶ機会を設けます。1年次には、語学研修や、ビジネスに関する英語での講義やディスカッション、企業訪問等を組み込んだ米国等の海外短期留学(3~4週間)を必修とします。

## 7割以上のカリキュラムを 外国語で学ぶ

国際経営学部では、グローバル・ビジネスの現場で活躍できるよう、徹底した外国語運

用能力の育成を図り、カリキュラムの7割以上が英語を中心とした外国語による授業となります。そのため、卒業に必要なすべての単位を英語で行われる科目で修得することが可能です。

基礎となる専門必修5科目は、通常の英語による授業の理解を深めるため、チュートリアル授業(英語+日本語もしくは中国語)を実施。さらに、中国語、英語、スペイン語によるビジネスコミュニケーション、ビジネス交渉論といった実践的な科目も設置されています。

## 学部を超えてより深く学ぶ

中央大学では学部の垣根を超えて学ぶFLP(Faculty-Linkage Program)というプログラムを実施しています。FLPには5つのテーマ別プログラムがあり、テーマに関してす

## グローバルな教育環境を国内で

多摩キャンパスにはGスクエア(G Square)という異文化交流の拠点があり、留学情報、国際交流、異文化を知る機会を提供しています。また、9つのマルチスクリーンでそれぞれ異なる言語のニュースを視聴することができたり、International Dayとして特定の国について学び交流するイベントを学生が企画・運営したりするなど、身近なところでグローバル社会を経験する環境が提供されています。また、東京都多摩市(聖蹟桜ヶ丘)と日野市(多摩平)の2つの国際寮で留学生とともに生活し交流するチャンスもあります。

中央大学の建学の精神は「實地應用ノ素ヲ養フ」。実学の精神を柱に、グローバル化が進むビジネス社会で活躍できる「素ヲ養フ」新たな学部が期待が持てます。

すべての学部の学生が履修することができるため、他学部の学生と一緒に学際的に学ぶことができます。

プログラムの1つ「国際協力プログラム」では、途上国の開発や貧困問題の解決法を探り、フィールドワークや海外ボランティアも実施しています。こうした活動に参加することで、国際経営学部での専門的な学びをさらに発展させ、独自の専門的な強みを身に付けることが可能となります。

## 多彩なキャリアの可能性

国際経営学部卒業後のキャリアとしては、グローバル企業、外資系企業、大手コンサルティング会社、シンクタンク、公的機関、国際機関、NGOs/NPOsなどでの活躍を想定しています。



## 中央大学のグローバル教育

現在、世界35カ国・地域、計190の海外大学・研究所とネットワークを持つ留学制度があり、このうち、28の国・地域の140の協定校と交換留学を実施しています。留学中の単位は帰国後、卒業に必要な単位として認定されます。また留学期間中の学費の減免制度や大学独自の奨学金なども用意されています。協定校以外でも、学生が希望し、大学が認めた外国の大学、あるいは高等教育・研究機関に留学できる認定留学制度もあります。認定留学では、国際センターに申請することで学費減免や奨学金給付を受けることも可能です。この他に春季・夏季に実施する2~4週間、アメリカ、オース

トラリア、ニュージーランド、イギリス、カナダ、ドイツ、フランス、韓国各国の大学で学ぶ語学研修のための短期留学制度もあります。

学部の授業でも、グローバル社会に対応した学びが行われています。例えば、法学部においては「日本法入門」など英語で行う専門科目の授業、国際企業関係法学科を中心とする多様な外国法科目が開講されています。

課外の外国語教育では、TOEFL、TOEIC、IELTSといった英語講座、ドイツ語、フランス語、中国語の検定対策のための第二外国語講座も開設しています。

## 「実学の中央」には、理由があります。

<司法試験合格実績>  
2017年度: 119名合格  
(法科大学院別合格者数 第三位)

<公認会計士試験合格実績>  
2017年度: 77名合格  
(大学別合格者数 第四位)

<国家公務員総合職合格実績>  
2017年度: 51名合格  
(私立大学別合格者数 第三位)

<国家公務員一般職合格実績>  
2017年度: 195名合格  
(大学別合格者数 第三位)

## OPEN CAMPUS 2018

### 中央大学のキャンパスを 体感しよう!

中央大学のキャンパスをあなたの目で確かめてください。

学部ガイダンスを始め、模擬授業、相談コーナー、キャンパスツアーや入試分析講演会等盛りだくさん。

法・経済・商・文・総合政策学部 理工学部  
多摩キャンパス 後樂園キャンパス

2018年8月5日(日)・8月6日(月)  
10:30~15:30

申し込み不要・入退場自由

行動する知性。

中央大学

■法学部 ■経済学部 ■商学部 ■理工学部 ■文学部 ■総合政策学部

デキル!学部

青山学院大学コミュニティ人間科学部(収容定員増 認可申請中)

# 地域のコミュニティ創造をリードするために 青山学院大学からの提案



キャンパス移転に始まる一連の改革に区切りをつけた青山学院大学。人工知能と人との関係を考えるシンギュラリティ研究所の開設など、次の時代へ向けての改革も始まる。その一つが2019年度に相模原キャンパスに開設予定のコミュニティ人間科学部。2009年開設の教育人間科学部、2015年開設の地球社会共生学部と続く文系学部で、相模原キャンパスではグローバルな人材育成を目指す地球社会共生学部と対をなし、地域のコミュニティ創造をリードする人材育成の拠点を目指す。新学部について、新学部開設準備室 副室長の鈴木真理先生に聞いた。



青山学院大学  
コミュニティ人間科学部  
新学部開設準備室 副室長  
教育人間科学部教授  
**鈴木 真理 先生**  
Profile  
東京大学文学部(社会学)卒業 東京大学大学院教育学研究科博士課程中退。東京大学教育学部助教授等を経て現職。専門は、社会教育学・生涯学習論。主著に「ボランティア活動と集団・生涯学習・社会教育論的探求」(学文社、2004年)など。

## 今なぜコミュニティ人間科学部なのか?

人口減少、超高齢化社会の中で、地域創生という言葉にも象徴されるように、全国各地における地域の再生、活性化が大きな社会課題となっています。大学においても近年、地方国立大学を筆頭に、それを担う人材の育成を目指す学部・学科が増えています。ただその多くは、地域経済の活性化や地域の産業振興、都市計画などに重きを置き、経済・経営、公共政策、新しいところでは観光学などからのアプローチで、実務家養成を目的にしたものが目立ちます。

こうした中、「地の塩、世の光(The Salt of the Earth, The Light of the World)」のスクール・モットーを掲げ社会貢献に力を入れる本学としては、経済の活性化や産業振興と同じくらい、地域で活動し、それを担う人間をつくり、それを通じたコミュニティの創造が重要であると考えました。

地域は人がつくり、人は人がつくる、自律的な活動をする人びとによってつくられるコミュニティがあって、はじめて地域の様々な課題の解決も可能になるからです。

学校と地域との連携、地域による学校の支援が唱えられていますが、地域の側から学校を支援する人を増やすための施策はそれほど進んでいるとは言えません。

そこで、社会学、教育学などの視点から、コミュニティ創造を促すためのコミュニティ人間科学部の創出を目指すことにしました。輩出したいのは職場、家庭を問わず、おかれた場で「地域活動を推進できる人」「地域を活性化できる人」「地域文化を継承できる人」であり、「学び続けることのできる人」です。

## 教育の特色

地域社会と人々に関わる諸課題を5つの履修プログラム科目群として、地域社会とそこで生活する人々のあり方を「幅広く」、かつ「深く」学ぶための仕組みを設けています。学部必修科目群として、実践的に学修する「演習科目」を、「学部基礎科目」と「研究理解科目」で支える構造とし(図)、地域活動の基礎的な理解を深め、地域の活動を体験し、地域づくりの基礎を学びます。また能動的な学習や研究の姿勢を身につけ、「調査、分析、考

察力」「コミュニケーション力」「コーディネーション力」「マネジメント力」と、多様な人々の力を引き出しまとめていく「サジェスチョン力」、そして「発見し、発信する力」を身につけます。もちろん社会調査士、社会教育主事、司書、学芸員などの専門的な資格取得を目指すこともできます。

### (1) 学部必修科目群: 知識及び研究手法の習得から、実践的学びへ

「学部基礎科目」では、「地域学習社会論」「地域行政原論」「コミュニティ創造論」「コミュニティ社会学原論」の4科目で構成し、1年次にすべて学びます。この4科目はいずれも地域社会(コミュニティ)と人間に関する原理的な理解を深める科目であり、本学部の学修の基礎となる知識を講義により修得します。

「研究理解科目」では、1年次に、地域社会の状況を認識するために行う文献調査の手法を学ぶ「地域社会調査法入門(基礎調査)」を、2年次に、主に質問紙(アンケート)による数量的な調査の基礎を学ぶ「地域社会調査法入門(統計調査)」を、3年次に、面接調査(インタビュー)やフィールド調査、エスノグラフィやアクションリサーチなど、定性的なデータ分析が求められる「地域社会調査法入門(質的調査)」を設けています。これにより、本学部の基礎的な研究方法である社会調査の方法を、段階的かつ、体系的に学べるようにしています。

「演習科目」は、1年次から4年次のすべての学期に配置し、少人数での指導を行います。1年次には、高等学校までの学修との接続を重視し、大学での学修に必要なアカデミックスキルを学びます。2年次には、それをさらに深めることを目指すと同時に、「地域社会調査法入門(基礎調査)」で学んだ文献調査を行います。また、「地域社会調査法入門(統計調査)」で学んだ内容を踏まえて、質問紙(アンケート)調査を実際に体験します。3年次には、担当教員の専門領域や研究テーマとも関連し、「地域社会調査法入門(質的調査)」で学んだ手法に基づき、地域社会における諸課題を分析する作業に取り組みます。4年次には、「卒業研究」として、地域社会の持続可能な発展に資するテーマを設定し、それに関する調査を実施して分析し、4年間

## 地域で生きる、地域で活かす実践知を身につけるための体験学習「地域実習科目」



**無人島体験** 愛媛県のNPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構の協力で、子どもたちの生きる力を育む中で、子どもの活動支援について学びます。



**教育やまちづくりの支援** 徳島県のNPO法人ひとつむぎ、同牟岐キャリアサポートセンターの協力で、教育やまちづくり交流を支援する事業などのイベントで体験的実習を行います。

プログラムのいくつかでは、地域で学校を育てるなど、学校教員にならなくても教育に携わることができることが学べます。

の学業生活の集大成として、最終成果物を作成または製作することを目指します。

このように、後に紹介する履修プログラムの「地域実習科目」の実習について、漠然とした印象からではなく、根拠をもって地域を理解し、問題や課題の解決を図る能力を得るために、いわゆる講義による知識の習得のみではなく、地域の実態を分析する手法を習得する科目が必修として体系化されています。これは同系統の学部としては極めて珍しい試みだと思えます。

### (2) 学部共通選択科目: 5つの専門領域で現場で役立つ知恵(実践知)を育む

履修プログラム(専門領域)は、「子ども・若者活動支援」「女性活動支援」「コミュニティ活動支援」「コミュニティ資源継承」「コミュニティ創生計画」の5つ。「子ども・若者活動支援」「女性活動支援」では、それぞれの活動を支援する際に求められる知識・技術を学びます。「コミュニティ活動支援」では、高齢者、障がい者を含む地域の人々のための地域スポーツ、社会福祉、ボランティア活動などの基礎を理解し、日常生活や職業生活等を支援する知識・技術を学びます。「コミュニティ資源継承」では、博物館、図書館、アーカイブなどの活用を通じて、地域の文化資産、情報資源の後世への継承、同時代における伝達と活用に必要な知識・技術を学び、地域やそこに生きる人々のアイデンティティの確立について研究します。「コミュニティ創生計画」では、コミュニティ創造についての様々な思想・理念、制度を学び、実践的な計画策定に必要な知識・技術を学びます。

各プログラムに、全員必修の「地域実習科目」が設けられるのも大きな特徴。一週間の地域での実習を挟み、ゼミ形式の事前学習、事後学習を入念に行い、地域の問題解決に必要な知識・技術の修得を目指します。各地域の人々は様々な歴史的経緯の下に活動していますから、まずはそこに加わること。しかもただ闇雲に参加するのではなく、その成り立ちも理解しておくことが必要です。期間は一週間で、1グループ約8名の少人数制。北海

道から沖縄まで、全国各地の協力先で活動する予定ですが、全員必修のため協力先は少なくとも30か所は必要です。

これまでの私の経験では、いわば「新しいふるさと」ともいべき土地を一度もつた学生たちは、そこにかかわり続けることが多いです。その活動が卒論につながるものになる可能性はとて高いのではないかと期待しています。実習先については、ここに紹介したものに加え、各教員がそれぞれのネットワークを通じて確保しつつありますから、大規模なネットワークが形成されるのではないかと予想しています。

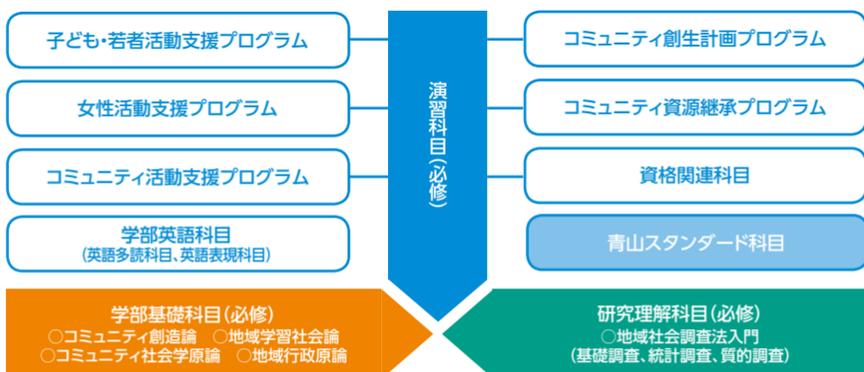
新学部では他者との協働や柔軟な対応力も含め、「能動的な学習や研究の姿勢を身につけ」とともに、社会調査士、社会教育主事、司書、学芸員などの専門的な資格取得を目指すことができます。なお、資格取得のための科目は資格科目群として別に用意しており、卒業に必要な単位内で修得できます。

また、外国語科目群の他、青山学院大学の共通の教養科目群として「青山スタンダード科目」を設けています。

## 受験生へのメッセージ

卒業後の進路としては、まず、公務員や団体・NPO等の公共のための事業や公的な性格を持っている活動を行う組織の職員が挙げられます。また、地域社会とそこで活動する人々に係る諸課題を発見・解決するための知識と研究方法を学ぶことは、地域社会や地域住民等を対象とする金融業や製造業、小売業、観光・運輸業等々の一般企業で、特に商品・サービス開発部門やマーケティング部門で活躍できると想定しています。さらに、近年多くの企業が社会貢献を掲げており、その部門での活躍も期待されます。

受験生のみなさんには、高校生に求められる基礎力を身につけた上で、社会的な問題にも敏感であってほしいと思います。新学部では、コミュニティ創造を目指すみなさんの高校時代のユニークな活動を評価する自己推薦枠も設け、みなさんのチャレンジを待っています。





目指せ! グローバル人材

デキル! 学部

神戸松蔭女子学院大学教育学部 (2019年度開設)

学院創立から126年を数える神戸松蔭女子学院大学<sup>※1</sup>。2019年度には、15年ぶりとなる新学部、教育学部を開設する。人間科学部子ども発達学科を大幅に改編した新学部について、開設の背景と目的、特徴などについて、待田昌二学長にお聞きした。

※1 1892年1月、英国聖公会により、神戸市北野町に松蔭女学校が創立された。

# 教育の神戸松蔭に、教育学部が誕生

## 小学校英語の教科化と小中連携教育に対応、特別支援教育も充実



神戸松蔭女子学院大学 学長  
待田 昌二 先生

### Profile

大阪大学人間科学部卒。大阪大学大学院人間科学研究科修了。学位 博士(人間科学)。平成8年4月神戸松蔭女子学院短期大学専任講師。平成13年4月神戸松蔭女子学院大学助教授。平成19年4月同教授。平成28年4月から現職。大阪府立三河ヶ丘高校卒。

### 今なぜ、教育学部か?

現在の学校教育の課題に対応した教員養成が急務とされる今、本学としても半世紀以上の歴史のある中・高教員養成を、社会及び受験生に対してもっと端的にアピールしたいと考えました。

現在、小学校では、次期学習指導要領において外国語(英語)の時間が3、4年生に前倒しされ、高学年では外国語(英語)として必修化されることから、英語を教えらるる教員の養成が急務とされています。またその円滑な導入、展開を後押しするために、一部では小・中学校の連携や接続が図られていて、中学校の英語教員への期待も高まっています。

グローバル化に加えて多様化も大きな課題です。幼稚園や学校現場で、身体的・精神的な困難を抱える子どもの割合が増えているとされる中で、そうした子どもたちを分離することなく通常クラスの中で受け入れるインクルーシブ教育<sup>※2</sup>を目指して、特別支援教育の充実も求められています。今後は特別支援学

校教諭免許を持つ、持たないにかかわらず、教員はそのような生徒への理解と支援の方法を身につけておかなければなりません。

本学は、神戸という国際性豊かな街で100年以上に亘って英語教育、異文化理解教育を育んできました。同時にキリスト教精神に基づき、他者への思いやりを学びの一つの柱としてきました。今、学校教育において英語教育と特別支援教育に注目が集まる中、このような分野に力を入れることは、まさに建学の精神や教育理念<sup>※3</sup>、これまで築き上げてきた本学ならではの個性と一致するものと考えたのです。

※2 子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、障害の有無にかかわらず、望めば自分に合った配慮を受けながら通常学級で学べることを目指そうという教育理念、実践プロセス。

※3 教育理念は、キリスト教の精神、実践的な教養、キャリア教育

### 特別支援教育と、中学・高等学校の英語を加えスケールアップ

— 「幼児教育」と「学校教育」の2専修で様々な資格取得に対応

新学部では、従来の人間科学部子ども発達学科における「幼児教育コース」「初等教

育コース」を、「幼児教育専修」「学校教育専修」へと改編し規模を拡大します。

「幼児教育専修」は子ども発達学科を受け継ぎ、保育士、幼稚園教諭の免許取得を目指しますが、新たに特別支援学校教諭の資格も取得できるようになります。

「学校教育専修」は小学校教諭免許取得を目指しますが、幼稚園教諭または特別支援学校教諭免許も取得可能な「小学校教育コース」と、中学、高校の英語教員免許の取得も可能な「英語教育コース」を設置します。小学校教員採用試験では、英語の必修化を控え、英語の検定で一定の成績やレベルに達していたり、中学校の英語教員免許状を持っていたりすると、加点や一部の試験免除などの優遇措置が受けられる教育委員会は2017年度には53に上ります(68のうち)。ちなみに大阪市では、中・高免許状取得者は1次選考で90点、2次選考で30点が加点されます。

また学校教育専修には、『児童英語』に加えて、文学部英語学科で教育の実績を積み重ねてきた『早期英語教育』(基礎・応用)などの英語教育科目が置かれます。さらに、提携する聖ミカエル国際学校(インターナショナルスクール)での日本の子どもたちのための児童英語スクール等で実習し単位を取得すれば、「児童英語インストラクター認定書」(学内資格)が得られます。

また、いずれの専修でも、特別支援学校教諭の免許の取得に関わらず特別支援教育について学ぶことができるようになります。この他、子ども発達学科を受け継いで理科教育にも力を入れます。

教育学部は専修別の募集ですが、学校教育専修の2コースは入学後に選択できま

す。また、教育学部入学者専用の入学前予約型給付奨学金制度も新設され、自宅通学者では授業料が半額、自宅以外からの通学者は授業料半額で、年間家賃補助として10万円が、いずれも最大4年間支給されます(該当する入試や年間所得など応募条件については入学試験要項で必ずご確認ください)。

### 受験生へのメッセージ

女子大の使命は、女性が置かれてきた歴史と現状を学び、自分を閉じ込めている殻を破って自身を開放し、本当の女性活躍社会を切り拓く知識と態度を身につけるよう支援することです。そして、女性しかいないという環境を活かし、女性が自ら能動的に動いて活躍する機会をできるだけ多く提供することです。とはいえ女性の置かれている状況はまだまだまだ厳しいですから、安心の場、落ち着ける場を提供したいとも考えています。港町神戸を見下ろす優れた景観と自然を身近に感じられる恵まれた学びの環境の中で、自分が落ち着ける場を確保し、外へ向けて積極的に活動してほしい。「教育」の神戸松蔭というキャッチフレーズは、大学全体が「教育力」を高めていくという宣言です。自らの可能性を信じ、未来を切り拓いていこうとするみなさんを、私たち教職員は、全力で応援したいと考えています。

### 文学部も変わる

文学部では英語学科が英語運用能力をさらに強化するカリキュラム改編を行う。総合文芸学科は募集停止するが、日本語日本文化学科に「メディア表現コース」が新設される。

### 長年培ってきた伝統を新学部で結集

「児童英語インストラクター」だけでなく、全国的にも珍しいオーストラリアでの教育実習や関連施設の活用はそのまま新学部を引き継がれる。学内にある子育て支援フリースペース「まっぼっくり」[写真]、併設の社会福祉法人運営の幼保連携型認定こども園「松蔭おかもと保育園」は、いずれも実践の場や実習先として活用され、保育園は就職先の一つもなっている。

外国語教育センターが運営する全学生向けの英語教育としては、学内で居ながらにして留学気分を味わえる「イングリッシュ・アイランド」、ま



た外国語学習支援スペースで、教員や英語指導員などが、予習・復習の指導、アドバイスなど、英語学習について相談に乗ってくれる「ピア外国語応援サロン」がある。サロンには資格試験の最新問題集なども揃っていて、自習、グループ学習にも利用できる。

# 「教育」の神戸松蔭

教育は、人を変え、時代を変える力になる。

2019年4月 教育学部 教育学科 開設



Open Yourself, Open Your Future

神戸松蔭女子学院大学

教育学部 教育学科<sup>※</sup>(幼児教育専修、学校教育専修) ※2019年4月開設予定  
人間科学部 都市生活学科(都市生活専修、食ビジネス専修)/食物栄養学科/ファッション・ハウジングデザイン学科/心理学科  
文学部 英語学科(英語プロフェッショナル専修、グローバルコミュニケーション専修)/日本語日本文化学科  
〒657-0015 神戸市灘区藤原伯母野山町1-2-1 TEL.078-882-6123(入試・広報課直通) URL <https://www.shoin.ac.jp/>

夏の  
オープン  
キャンパス

7/15(日)・22(日)

8/5(日)・26(日)・9/9(日)

各日10:00~15:00  
(14:30受付終了)  
(事前予約不要)

保護者の方、高校1・2年生歓迎  
AO入試予備面談(全日程実施)

JR「六甲道駅」、阪急「六甲駅」から  
通学バス臨時便(無料)運行

シリーズ 大学が地域の核になる—京都文教大学の挑戦

# チームで考え、学び合う。 プロジェクト型現場学習。

京都文教大学地域協働研究教育センター 専任研究員 石田 浩基

京都文教大学では、学生の現場実践力を高めることを目標に、様々な地域の現場での実践に取り組む「現場実践教育科目」が開講されています。これは2年次生以上を対象とした全学共通科目であり、そのうちの1つが、PBL(Project Based Learning)の手法を取り入れた「プロジェクト科目」です。本稿では、2018年度前期(4~7月)に開講された2つのプロジェクト科目について、具体的な取り組みを紹介します。

プロジェクト科目は、宇治市や京都市伏見区などの地域と連携して行う「地域」型と社会問題や具体的な課題解決に向けて取り組む「テーマ」型があり、前後期あわせて10~20のクラスが開講されています。学期初めに学生たちは、担当教員や連携地域・団体から課題を与えられます。この課題に対し、チームで仮説を考え、検証し、課題解決の手法を探るといった授業形態が、本科目の特徴です。学期末には、当該学期全クラスによる合同成果発表会が行われ、課題解決への提案や科目での学びについて、広くプレゼンテーションが行われます。これも大きな特徴の1つと言えるでしょう。今回は、2018年度前期開講の2クラスについて紹介します。なお、全クラスの合同成果発表会は、7月21日(土)に行われます。



## まち歩き企画による地域資源発見クラス

このクラスでは、宇治市広野町において地域生涯学習支援事業の一環として行われている「ひろの探検隊」の企画立案・実施を通して、計画力や実行力、地域の魅力を発見する力を養うものです。

「ひろの探検隊」は、まち歩きを通して、地域の歴史や文化資源の再発見を試みる取り組みであり、2018年度前期は全3回が実施されました。このクラスでは、そのうちの1回を学生企画とし、授業では実施に向けた企画会議や現地調査、準備に重きを置いています。

学生にとっては、まったく知らない地域のまち歩きを考えるということで、具体的なイメージや地域情報も乏しいところからスタートしなければならないので、それらを収集すると同

時に、イメージを共有するための話し合いが必要になります。

授業回数が限られている中、まち歩きのルートや立ち寄り地点などの選定、役割分担を決めなければならないため、企画会議は思うように進みません。企画実施直前まで各々が準備に追われることとなりました。

そして迎えた当日は雨のため、急遽別のプログラムに変更するなど、終始思い通りにことが運ばない日となりました。その中でも、事前の予報で雨天の確率が高いことを知りながらも、実施に向けた企画準備に学生が精を出したことは評価できる点であり、計画を実行する力、状況を把握しながら取り組む力が高まったのではないかと感じています。

## 企業と考える地域づくりクラス

このクラスでは、京都府南部地域に所在する中小企業3社を訪問し、地域社会における企業の役割や学生の関わりについて考える中で、課題発見力や創造力を養うものです。

授業では、まず座学にて企業の役割や行政、NPOとの違い、地域参加の事例などを学び、企業訪問の土台となる基礎知識を身につけます。

訪問企業は、市町や業種、業態が異なるように選定しています。1社目は、京都市伏見区で訪問看護や配食サービスを行う企業、2社目は城陽市の酒造会社で、それぞれ5月、6月に訪問を行いました。3社目は久御山町にあるプラスチック製品のファブレスメーカーであり、7月の訪問を予定しています。このように業種

や業態の異なる企業を訪問することで、様々な地域への参加、貢献のあり方を学生に考えさせることを授業の目的としています。

同時に、各社の事業内容や地域貢献活動だけでなく、地域に根ざす経営者の想いや社員の働き方についても、学生の関心を向けさせることで、自身の進路について考える機会としていることも、このクラスの特徴です。

企業訪問後の学生からは、地域住民との信頼関係を構築する経営スタンスや、小規模ならではのネットワークの軽さについて強く認識したとの感想が多くありました。こちらは、まだ企業訪問の途中段階ということもあり、どのような成果が結実するのか楽しみです。

## 公開シンポジウム「学びと創造性」

日時：2018年9月1日(土)  
12:30~17:40(開場12:25)  
会場：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールⅢ

会場とアクセス：会場となります京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールⅢは、京都大学吉田キャンパスの本部構内にございます。京阪本線「出町柳」駅から東へ徒歩15分または京都市営バス「京大正門前」下車(路線によっては「百万遍」で下車ください)

共催：国際教育学会(ISE)  
神戸大学社会システムイノベーションセンター  
京都大学経済研究所  
京都大学基礎物理学研究所  
京都大学統合複雑系科学国際研究ユニット  
同志社大学ライフリスク研究センター

第一部：「グローバル時代の教育」(12:30~13:30)  
第二部：「教育の意味を考える」(13:40~14:25)  
第三部：「創造的問題解決とは何か」(14:35~17:00)

15:45~17:00 パネル・ディスカッション「何が想像を生むのか—創造的問題解決」  
モデレーター：大野照文(三重県立博物館館長)  
パネリスト：柴田一成(京都大学大学院理学研究科附属天文台台長)  
村瀬雅俊(京都大学基礎物理学研究所)  
阿部建一(総合地球環境学研究所)  
森悠子(長岡京室内アンサンブル音楽監督)  
富田直秀(京都大学大学院工学研究科)  
八木匡(同志社大学)

小さくまとまるな。常識にとらわれるな。  
めざすなら、何十億を動かすプロデューサー、**世界を変えるプロデューサーだ。**  
アートプロデューサー/イベントプロデューサー **芸術計画学科**

全天周投影の実験ドーム、8K、VR、水中撮影、空撮(ドローン)…。ここでしか追求できない、**映像表現の新たな可能性に挑め。**  
写真学科

文系理系、関係ない。**世界を驚かせるのは、キミだ。**  
アートサイエンス学科

16歳からの大学論

第15回

「学術分野を選ぶ」ということ

京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授 宮野 公樹先生

Profile 1973年石川県生まれ。2010~14年に文部科学省研究振興局学術調査官も兼任。2011~2014年総長学事補佐。専門は学問論、大学論、政策科学。南部陽一郎研究奨励賞、日本金属学会論文賞他。著書に「研究を深める5つの問い」講談社など。

大学進学において進路を選ぶ際、当然ながら大学を選び、学部を選ぶことになります。そして学部を選ぶということは、必然的に学術領域を選ぶ、ということになります。では、みなさんはどうやって学術領域を選びますか?

そのような問いから論をおこしたものの、実際のところは選択基準は人それぞれ、というのが結論でしょう。その時点での自分の興味関心や時代の風潮(最近ならAI系ですかね)、それに卒業後の就職先までを考えて学部を選ぶ場合もあるでしょう。これらのうち今回は「自分の興味関心」、すなわち損得勘定を抜きにしたところでの自分自身の内面的な感情について考えてみます。

「私は〇〇分野に興味関心がある」と言ったとき、なんといっても気になるのは「なぜその〇〇分野に興味関心をもったか?」という動機の部分です。例えば、〇〇が好きだから、〇〇をなんとか解決したいから、ずっと前から〇〇が気になっていたから、〇〇が格好いいと思うから、〇〇が面白そうだから、といった類いであると思われる。通常はこの段階で問いを止め、早々に学術分野を決めてしまうように思います。

しかし、しばしお待ちを。その時点での興味関心で分野を選択するのは、著者からすると早計のように思います。例えば、〇〇が好きだから、というのであればなぜそれが好きなのか?と問いを続けることができます。「んー 自分が小学校のころにはじめて〇〇を知ったんだけど、そのときの衝撃が未だに残っているから」などの答えが返ってくるかもしれません。でもさらに「では、なぜ〇〇をみて衝撃をうけたの? 小学校のころなんてある意味ほとんどのモノコトがはじめての見聞きといえるよね。そのなかでなぜ〇〇だけに衝撃をうけたのだろう」と問うことができます。このようにまだまだ問いを幾重にも繰り返して行くと…きっとどうしようもなく「ええい、好きだから好きなんだ」となるかもし

れません。いや、きっとそうなるでしょう。実は、正直いって結果などどうでもいいのです。大事なのは、一度はこの終わりのない問いに徹底的に浸っておくことなのです。

〇〇が好きなの自分って? 〇〇を格好いいと思う自分って? 〇〇が大事と思う自分って?と考え詰めることは、「自分」について客観的に思考する試みです。自分とは何か…これを切実に思考する機会は人生において意外にないもの。大学進学というタイミングはちょうどいい時期かも知れません。きっと、今後の人生に大きく影響を及ぼすぐらいの深い気づきを得られるでしょう。なによりここまで考えたのなら、自分自身の選択に責任をもつことができます。誰に言われたからでもない、時代に流されているのではない、現時点での自身の全人格をもってして考えぬいたこそ結論。そこまで考えたとき、その選択はまったくもって「あなた」そのものと化します。選択にあなたという人格が現れるのです。「そうなったときにこそ、正しい選択を行えるのだ。だからそこまでちゃんと思考しろ」と言いたいのはありません、断じて。正しいものもない。そんなことわからない。しかし、自分は誰のものでもない自分の人生を生きることができるといっているのです。仮にその選択がどうも自分とマッチしなかったというときも、いや、おそらくはそういう場合がほとんどかもしれませんが、きっとまたその経験を踏まえて思考し、自分の人生をまた歩き出すことができる…そう言いたいのです。

さて、第15回までお付き合いいただいた読者の方には直ちにピンとくるかもしれませんが、このような自分で自分を見つめる思考、内省は学問そのものだと筆者は思っています。なにも大学という場でないと学問ができないわけではない。自分とは何か、自分が存在しているとはどういうことかと、ふとしたきっかけでいつでも学問はあなたの内から生じるのです。よき人生を(続く)。

おまけ 大学で研究される学問領域は細分化が進み、いまや学会の数はなんと2,022もあるのだとか。このなかから、本当に「自分らしい学問」と出会うのは至難の業かもしれません。そこで筆者はこの度、「あなたにぴったりの学問みつめます。ナビスコラ Navischola」というWebアプリを開発しました。すでに10万人が利用しています。このアプリは、1,757人の研究者からの「生の声」を元に、12の領域の中からあなたに合う学問を教えてください。診断ツール「Your Schola」と、膨大な学問分野の関係を解き明かす分野相関図「Schola Scope」から構成されます。いままでもありませんが、この診断結果は「占い」程度。自分自身を知るための一素材となればそれで充分です。ぜひお楽しみください。 https://navischola.app/

連載 その12 哲子の相談室 Profile 異分野から工学の世界に入り、感情・表情・脳と癒しをテーマに北岡オリジナル癒し工学を提唱。工学、医学、芸術、心理学、環境学、社会学、宗教人類学の学際研究に従事している。08年12月に日本機械学会計算力学部門に「癒し工学研究会」を設立。09年、東京工業大学において博士(工学)を取得。日本機械学会、日本感性工学学会、日本早期認知症学会、日本脳電位学会会員。2011年日本機械学会「癒し工学研究分科会」主査。東京工業大学大学院助教を経て、2015年4月より現職。他に自動車事故対策機構 自動車アセスメント等技術検討ワーキンググループ「予防安全技術検討ワーキンググループ」委員。著書は「癒しは科学で手に入る」(幻冬舎ルネッサンス新書)。2015年春からは、日経テクノロジーオンラインで「スポーツをテクノロジーする」を、電気新聞で「癒し工学の散歩道」を連載中。青山学院高等部出身。

将来を見据えた進路指導を

相談 去年は、高校3年の男子の母でした。夫は弁護士、長女は有名大学のロースクールに通っており、私は専業主婦です。夫は家庭無視、仕事だけ。社会貢献に明け暮れ、町のごみ拾いは懸命にするが、家のごみは全く拾わない。人からは人格者と言われますが、家庭人としては0点。そのギャップに対するうっぶんを、私は長男を溺愛することで解消していたようです。ところが長男は、そんな私への反抗からか、突然予備校もやめ大学にはいかないと、何もなくなりました。高校は、世間体もあり進学校に進ませていたのにこの始末。今更ですが、親として、高校には偏差値の高い大学に進学させ名前を売るのに必死にならず、各生徒の適性を見出し、将来の仕事につながる進路指導を望みたいと思いますが、いかがでしょうか。

回答 ご質問からは、ご家族はただお母様だけが、ご子息の現状に大変心を痛めておられるように見えます。ご両親の介護もあるとのこと、ストレスは計り知れないとお察しします。優秀なご主人や姉とは違う道に進みたいと、自ら決断されたのは、なかなか行動力があるようにみえますが、私見では、往々にして甘やかされて育った子供は、突然驚くほど思い切ったことをする。勇気というより無分別で、いずれ親がなんとかしてくれるという甘えの裏返しだと考えています。勿論、早くから適性など関係なく、自分は将来〇〇になりたい、と確固たる意志をもっている生徒もおりますが、将来何をしたいか全く考えていなかったり、悩んでいるけれど決められない子どももいますから、決して珍しいケースではありません。動機はともあれ目標が決まっていれば、それなりの大変さはあると思いますが、精神的には、目標がない子に比べまだ楽かもしれません。

ていってほしいですね。家庭では甘えがでたり、保護者の方も偏った評価をしがち。わが子の社会性がわからない場合もあるので、他人のほうが客観的に評価できると思います。

そこで、「将来、適職につくための大学や学部についてのリサーチや、生徒の適性の把握にもっと力を入れてほしい」とは思うものの、親の多くは有名校にいておけば全て面倒みてくださると安心してしまふ。それでも有名校には入れるべきだとは思っていますが、ご相談はさらに続きました。

現代は遠回りが許されない風潮がありますから、なんとなく焦りを感じる親御さんも少なくないでしょう。一昔前は、教師にも「自分がやりたいことをみつけるまで大いに悩め!」と豪語するような人がおりましたね。

いろんな力を借りて、一早くやりたいことを見つけさせ、それに向けて指導してほしいという思いは、たしかに一理も二理もあります。しかし高校だけにそれを期待するのも、これはこれで親の甘えのような気もします。自分の将来を決められないのは、その生徒自身やその家庭環境にも原因があるでしょうし、ここまで子供を見つめ、手をかけ育てられたのなら、小さい頃からもう少し、学校とは違うアプローチで子供の意思を育てる努力をすればよかったのに、と残念に思いました。

たしかに多くの高校では、理系か文系かの程度かもしれませんが、生徒の適性を判断されていると思います。しかし自衛官やパイロット、あるいはユーチューバーや起業家などと、具体的な職業適性を早い段階から見出すことができれば、もっと無駄のない大学選択ができるはずですが、勿論、特色をだしやすい私立中高一貫校の中には、そういうことをしているところがあるかもしれませんが。

私自身は昔から、大学以下の教育機関はなりたくない職業から逆算して決めるべきだと強く思っていて、そういう高校があれば理想的だと思っています。しかし学校だけにまかせるのはやはり賛成ではありません。お子さんの将来を決めるのに家庭環境は大きく影響しますから、ご家族の役割も今一度見直されるとよいのではないのでしょうか。とても難しいことかもしれませんが…(続く)。

このコーナーでは読者からの相談を受け付けています。お気軽に下記のアドレスへご連絡下さい。 kitaokat@nbu.ac.jp

2018年4月 「御殿山キャンパス・グローバルタウン」開学 新キャンパスに開設した、700人規模の生活空間 GLOBAL COMMONS 結-YUI- 新キャンパスは、協定を結ぶ 世界54カ国・地域383大学 から集う外国人留学生と関西外大の学生が「学・食・住」を共にすることで、授業だけでは学ぶことのできないグローバル人材育成の実践の場になります。 ※外国人留学生数(2017年度実績)約620人 大 学 院 外国語学研究所 (博士前期課程・博士後期課程) 英語キャリア学部 英語キャリア学科 英語キャリア学科小学校教員コース 外 国 語 学 部 英米語学科 スペイン語学科 英 語 国 際 学 部 英語国際学科 短 期 大 学 部 英米語学科 留 学 生 別 科 【中宮キャンパス】 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 TEL.072-805-2801(代表) 【御殿山キャンパス・グローバルタウン】 〒573-1008 大阪府枚方市御殿山南町6-1 TEL.072-805-2701(代表) 【入試広報企画部】 TEL.072-805-2850(直通) E-mail nyushi@kansai-gaidai.ac.jp URL http://www.kansai-gaidai.ac.jp

昨年度で三回目となった京都大学の特色入試ですが、年々受験者は増加し、試験内容にも変化が起こっているようです。今回は、そんな狭き門を潜り抜けた4名の合格者たちに話を聞いてみました。

# 京都大学特色入試合格者に聞く

## 特色入試を受けようと思ったきっかけは何でしたか？

**室口**：特色入試の「オモロイ人探してます」というキャッチコピーに惹かれたのが最初のきっかけです。あのポスターいいですね。私、「オモロイ」ことが好きなんです。

**籠島**：私はもともと京大を受験するつもりはなかったのですが、同じく特色入試を受験しようとしていた友達や高校の先生に強く勧められて、特色入試なら前期試験は別の大学を受けられるのでそれならいいかなと思い、幅広く学べる総合人間学部の受験を決めました。

**大山**：僕は高2の時点では教育に興味があり、二次試験の科目である小論文にも自信があったので教育学部の特色を考えていました。それでも、高3の夏になってやっぱりずっとやりたかった建築を勉強したい、と思い始めました。それを親に相談したところ、「とりあえず受けてみたら」と言われたので受験しました。

**西原**：一番の理由は、特色を受けることで合格のチャンスが増えると思ったので。あと、高校のコースへの貢献も理由の一つです。私は、通っていた高校がSGH(スーパーグローバルハイスクール)に認定され、そのグローバルコースの一期生でした。初めての試みには校内の批判もあり、同期で選択した人も年々減っていました。私はこれに危機感を覚え、自分が特色入試に合格することで少しでもコースの評価を上げられるのではないかと考えました。

## 学びの設計書二次試験について

**西原**：教育学部は学びの設計書の分量が多く、他学部と共通の高校で頑張ったこと、大学でやりたいこと、大学卒業後にやりたいことに加えて、自分の年表を書き、さらにポートフォリオまで作らなければいけません。一般入試の京大の二次試験の対策もある中でその準備に追われてしまったので、これで落ちたらどうしよう、と不安に感じながら作成していました。大学でやりたいこととしては、教育とメディアやジェンダー論について書きました。グローバルコースで各国の学生とワークライフバランスについてパネルディスカッションをした経験から、女性の立場の文化差について興味を持ち、京大に多い韓国や中国からの留学生から学びたいと思っています。

二次試験は筆記試験と面接でした。筆記試験の対策としては、ひたすら小論文を解いたり、国語の教科書に載っている人の思想をまとめてたりして、大変だったと記憶しています。実際に受けてみると、最後の問題は前年度までと傾向が異なり、「失敗というテーマでプレゼンの原稿をつくる」というものでした。こ

れを見た時、「失敗してもいいよ」と言われているようで軽いなあと感じ、一気に緊張がほぐれたので、高校でもやってきたプレゼンの経験を存分に生かして楽しんで書くことができました。

面接の対策としては、教育学部の教授の研究していることを調べるくらいしかしておらず、話すことはもともと好きだったのでいけるだろうと思い小論文の対策に専念していました。しかし本番ではこれまでの傾向とは異なる質問が飛んで来たり、学びの設計書の論理性について細かく突っ込まれたりしてとても焦りましたが、落とすための面接だと考えてなんとか話しました。

**大山**：工学部は二次試験がなく学びの設計書とセンター試験の点数だけで決まります。受験を決めたのが「学びの設計書」の提出日の一週間前だったので、たくさんの方に協力をいただきつつ、一週間夜通し考え抜いて大慌てで書き上げましたね。(笑)

内容は、高3の夏まで野球部でキャプテンをしていたこと、高2の秋に科学の甲子園に出場したことを書きました。科学の甲子園ではプラスチックの棒で橋をつくるという課題に挑戦したのですが、事前にメンバーと行った実験や当日のトラブルに対する試行錯誤が楽しく、そこでものづくりや建築に興味を持ったことが建築学科を志望する大きなきっかけになりました。

また、昔から世の中を活気づけたいと思っていましたから、例えば学校の教室や黒板の設計を変えることでつまらなそうに授業を受けている人を楽しませ、自主的に参加させる。建築で人々が生き生きと生活できるような「場」をつくることで、世の中を活気づけられるのではないかと。そのことを大学でやりたいこととして書きました。

普段からこういうものがあつたらいいなと思いついたものをまとめてはいましたが、改めて学びの設計書に書くにあたって先生方に相談したところ、すでに実現されている物も多く、オリジナリティを表現するには苦労しました。でも、そのおかげで自分のやりたいことを見つめ直せたので、良い経験だったなと思っています。

**籠島**：総合人間学部の倍率はとても高く受かるはずがないと考えていたので二次試験の対策は全くしていませんでした。比較力を入れたのは学びの設計書。400字という少ない字数でまとめるのは難しかったのですが、高校で頑張ったこととして水泳部では珍しい女子キャプテンとして男女両方の部員をまとめ上げる大変さなどを書きました。

大学でやりたいことは具体的には決まっていなかったのですが、当時ずっと考えていた、環境に関わらず幸せや不幸を感じる人間の心理状況や、満足できない差は何なのか、つまりとところ「幸せとは何か」についてひたすらまとめた。普段から母と結論が出ないような話をするのが好きなのですが、今回も母と

**室口 弓子さん**  
経済学部  
神戸国際高等学校出身

**大山 亮さん**  
工学部建築学科  
大阪府立北野高等学校出身



**西原 舞さん**  
教育学部  
清風南海高等学校出身

**籠島 瑠さん**  
総合人間学部(文)  
兵庫県立大学附属高等学校出身

たっぷりと議論をし、浮かんできた考えを整理して書きました。

二次試験は全く緊張せず無対策で文系総合問題と理系総合問題の二科目を受けました。理系の方はわからないなりに全て解答用紙を埋めたのですが、文系の方の小論文で「生きがいの変容」についての文章が出たので、学びの設計書の自分のテーマと似ているし、ここで理系の方も取り戻そうと意気込みながら、時間が無い中書きしました。

**室口**：私は実家やその周りが農家なのですが、その経営を見るうちに、多くの農家は経営の知識がないまま作物を育てており、しかも国による支援も不足しているため経営不振に陥っていることに気づきました。六次産業化と銘打った政策等も出されていますが、農家の視点から見ると、職人肌である農家に、専門的な知識が必要とされる経営も任せるとは無理があると感じていました。そこで学びの設計書にこの問題についてある程度進んでいる農学的アプローチではなく経済的な側面から解決したいと思い、経済学部を志望した、と書きました。高校時代にスイスに留学に行き現地の大規模な農業に触れたことも、日本の農業問題について考えるきっかけになりましたね。

センター試験前で、ほぼその勉強をしていたため、二次試験の小論文対策はあまりしていませんでしたが、協力的な学校の先生が持ってきてくれた模擬試験をやったり、論理展開の定型文を考えたりしていました。試験が終わった瞬間、「落ちた」と思ったので、本番の内容は全然覚えていません…。(笑)

## 合格後の気持ちや周りの反応

**大山**：合格後、教授から個別で期待しているなどの言葉はなかったですね…。

**西原**：面接で良く反応してくれた教授の英語の授業を受けているのですが、そこでCongratulationsと言ってもらえたことはあります。覚えてもらえて嬉しかったですね。

**籠島**：私は皆さんと違って一般では京大以外を受けようと思っていたので、やっぱり一般入試生に対する引け目はあります。本当に受かるなんて思っていなかったもので…。合格発表の日は、間違っているんじゃないかと思って電話で何度も確認しました。その後も「やっぱりドッキリでした!」と言われてもいいように、一般入試の勉強をちまちま続けていて、大学から書類が届き始めてやっと信じました。(笑)

**室口**：わかります。全然信じられなかったですし、急に空いた時間に何をしたらいいのかわからなくなっていました。

**籠島**：こんなにあっさり入ってしまっているのかとしばらく呆けてしまって、喜びは皆無でした。周りの人たちはとても喜んでくれたんですけどね。

**西原**：私は合格が決まったときは嬉しかったですし、達成感もありましたよ!

**籠島**：そこはやっぱり準備にかけた時間の差ですかね。私は何の対策もせず受けてしまったので…。ですが今となっては京都大学に入れて本当によかったなと思っています。

**大山**：僕も書類を出し終わった状態からいきなり合格ももらったので、「え、これで終わり?」感はありました。でも張りつめていたものがなくなり、安心と余裕ができたため、友人の受験対策を手伝ったり有名な建築を見に行ったりして有意義な時間を過ごせたのでよかったです。

**室口**：手持無沙汰で掃除機をかけていた私とは反対の過ごし方をしている…。

## 大学に入って

**籠島**：私は幸せについてだけを学びたかったわけではないので、入学してからは将来の選択肢を広げていっています。心理学の脳科学的アプローチも面白いなと思っていて、大学で理系の知識も身に付けられたらいいな。

**大山**：建築は後期から本格的に図面を書いたり模型をつくらしたりする授業が始まるので、それを楽しみにしています。ただ、今は部活を始めたばかりなので、あまり建築のことを考える時間はありません。

**西原**：教育の入門科目でグループ研究をしていますが、今はトラウマ絵本について調べようとしています。自分たちの興味があることについて学べるのは楽しいですね。あと、昔からお金を稼ぐことが大事だと無意識に考えていたのですが、教育というアカデミックな現場に身を置くことで、お金が全てではないという価値観にも気づかされました。

**室口**：経済は入門科目が多く、興味があることをやるゼミは二回生からなので、それを楽しんでいます。また、アメフト部のマネージャーをしているのですが、高校生の勧誘などの人集めやマネジメントも面白くなってきています。



### What GIS offers:

- A Liberal Arts education
- Interdisciplinary studies
- EMI (English as a Medium of Instruction)
- 56% of professors are non-Japanese

### Who GIS students are:

- Culturally diverse and educationally motivated
- Many students meet the following GIS English requirements:  
TOEFL iBT: 90+ (Special exam - S standard)  
IELTS: 6.5+ (Special exam - S standard)  
IB Diploma (Special exam - S standard)  
英検1級(一般入試・英語外部試験利用)

### Why GIS:

- Deep knowledge and practical skills
- Cultural awareness
- Critical thinking with a global perspective
- Developing leadership and teamwork for problem solving

### Global career paths to:

- Overseas graduate study
- Foreign-affiliated corporations

<http://gis.hosei.ac.jp>



# GIS

GLOBAL AND INTERDISCIPLINARY STUDIES  
Connections beyond borders

お問い合わせ 法政大学入学センター



〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL 03-3264-9300(直通)

PC <http://nyushi.hosei.ac.jp/>

法政 入試

検索

## 実践女子大学が近畿日本ツーリストと連携授業「ユニバーサルツーリズムを学ぶ」

実践女子大学(東京都日野市)は2018年6月22日、同大学渋谷キャンパスにおいて「高齢者・障がい者も楽しめる渋谷観光を作る!」をテーマに、株式会社近畿日本ツーリスト首都圏(東京都新宿区)にプレゼンテーションを行った。

今回のプレゼンテーションに参加する学生たちは、2018年5月から「オープン講座a」として、近畿日本ツーリスト首都圏との連携講座「ユニバーサルツーリズムを学ぶ」を6回受講。その集大成として、高齢者で車いすや杖を使用している人・視覚障がい者ら10~15名を対象に、時期は秋~冬、場所は渋谷で日帰り10時~16時までという設定で「高齢者・障がい者も楽しめる渋谷観光」を企画し、発表する。

全3学部の1~4年次が選択できるこの「ユニバーサルツーリズムを学ぶ」は、40名の募集に対し126名もの履修希望者があった人気科目。担当の文学部国文学科(キャリア教育)深澤晶久教授は2014年5月より、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の「文化・教育委員」に就任し、この講座は2018年度前期のオリンピック・パラリンピック連携講座に位置づけられている。

深澤教授は「近畿日本ツーリストは就職人気企業(※1)であり、本学からも就職を希望している学生が多い。ダイバーシティを意識し、高齢者や障がい者など、あらゆる人々のためのツアーとしてユニバーサルツーリズムを考える今回のテーマはオリンピック・パラリンピックを目前にして、学生たちに意義深い学びとなる」とコメント。

最終プレゼンテーションには、25チームの予選を通過した8チームが参加する。発表後は、近畿日本ツーリスト首都圏千葉支店の橋清志副支店長およびKNT-CTホールディングス株式会社(※2)地域交流部の淵山知弘課長がフィードバックを行う。

実践女子大学は2014年6月、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と大学連携協定を締結。2018年1月に、オリンピック・パラリンピック連携事業推進室を立ち上げるなど、全学的な取り組みを推進している。

※1 近畿日本ツーリストは、マイナビ2018就職人気企業ランキングのホテル・旅行部門において、第3位。

※2 近畿日本ツーリスト首都圏は、KNT-CTホールディングス株式会社のグループ企業。



## 高大接続改革を見据えた総合評価型入試、千葉商科大学が導入結果を検証

千葉商科大学は、2018年度の一般入試および大学入試センター試験利用入試において、学力だけでなく、主体性や協働性等の意欲、活動実績を多面的・総合的に評価する「総合評価型入試」を全学部で実施。今回、その実施結果を報告した。

千葉商科大学の「総合評価型入試」試験は、大学入試改革として文部科学省が提唱する「意欲・能力・適性等の多面的・総合的な評価」を行う入学試験。学力試験の得点に加え、高校が提出する調査書の「評定平均値」「出欠状況」「資格・検定等の取得状況」「クラブ、生徒会、ボランティア活動等の課外活動状況」を総合的に評価して合否判定する。この「総合評価型入試」は、千葉県内の大学において、2020年度からの大学入試(高大接続)改革を見据えた入試として、最も早い導入となった。

2018年度の総合評価型入試の結果は、一般入試で志願者86名、合格者39名、入学者24名で入学率61.5%。センター試験利用で志願者39名、合格者15名、入学者数8名で入学率53.3%だった。一般入試、センター利用とも高い入学率となり、入学志望度の高い受験生がこの制度を利用したと考えられる。

実施にあたった教員からは「普段の生活態度や学習姿勢を多面的に見ることができ、本来力を持っている志願者や、大学や学部の求める人材に合った志願者を選抜できる」(商経学部長・山本恭裕教授)、「自らが考えて行動し、人に寄り添って解決していける、これからの社会に必要な人材を育成する上で有効な試験」(人間社会学部長・朝比奈剛教授)など、総合評価型入試を評価する声があがった。

千葉商科大学では、受験生の多様な能力や経験を評価する「総合評価型入試」を導入していくことで、高校生は自分の得意なことを活かした入試方式でチャレンジできるようになり、大学・学部にとっても、ポリシーに合った意欲的で力を発揮できる受験生を獲得していけると期待している。

また、2019年度入試からは、高大接続ポータルサイト「JAPANE-Portfolio」も大学入学者選抜に利用。高校生の活動成果や学びを学力の3要素(知識・技能/思考力・判断力・表現力/主体性・多様性・協働性)に合わせて評価していく方針だという。



## 麻布大学とメニコンがイヌの緑内障を共同研究、2018年5月から遺伝子検査を開始



2013年にイヌとヒトに共通した緑内障の発症に関わる遺伝子を特定した麻布大学と株式会社メニコン。今回、両者が共同保有する特許「イヌの緑内障を診断する方法及びキット」の独占実施権を株式会社VEQTAへ許諾し、2018年5月からイヌ緑内障遺伝子検査を開始した。

緑内障は眼球内の圧力(眼圧)が上昇して視覚障害をもたらす疾患で、犬種依存性の高い眼科疾患のひとつとされている。罹患率の高い犬種として、シバイン、シーズー、アメリカンコッカースパニエル、ミニチュアダックス、ビーグルなどが知られているが、中でもシバインが症例数第1位、シーズーが第2位で、合わせて全犬種の約半数に相当する。眼科疾患で来院するシバインの43%は緑内障に罹患しているとの報告もある。

2013年には、麻布大学、横浜市立大学、株式会社メニコンが共同で進めてきた「イヌ緑内障の遺伝要因の解明に関する研究」において、イヌの緑内障感受性候補遺伝子として「SRBD1遺伝子」を同定した。「SRBD1遺伝子」はヒトの正常眼圧緑内障感受性遺伝子として日本緑内障学会から報告されており、この発見によって「SRBD1遺伝子」がイヌとヒトに共通した緑内障の遺伝要因となることが示唆された。

今回、このSRBD1遺伝子の解析に

基づく遺伝子検査の方法及びキットを株式会社VEQTAへ委託することになった。2018年5月からVEQTAでは、シバイン、シーズーの緑内障リスクを高い精度で予測できる遺伝子検査を開始した。

## 埼玉工業大学がAI専攻を新設、日本ディープラーニング協会と連携

埼玉工業大学(埼玉県深谷市)は、AI(人工知能)時代に求められる人材を育成するため、2019年4月に工学部情報システム学科にAI専攻を新設する。

このAI専攻は、幅広く社会に浸透するAIの基礎・応用・実践を学べるカリキュラムが特徴で、定員は40名。AIプログラミング言語・演習、人工知能概論、機械学習、深層学習(ディープラーニング)、自動運転概論などの科目を設置する予定である。カリキュラムの整備は日本ディープラーニング協会(東京都港区)と連携し、AIを用いて新しいビジネスやアイデアを創出できる人材の育成を目指す。

今回連携する日本ディープラーニング協会は、ディープラーニングを事業の核とする企業および有識者が中心となって、産業活用促進、公的機関への提言、国際連携など、産業発展のために活動している機関。新設されるAI専攻では、同協会が実施するディープラーニングを事業に活かすための知識を有しているかを検定する「G(ジェネラリスト)検定」、ディープラーニングを実装する技能を認定する「E(エンジニア)資格」の取得を支援する予定で、この試みは高等教育機関としては日本初となる。

埼玉工業大学は、すでにAI関連の多彩な研究・開発に積極的に取り組む研究者を擁しており、その専門分野の人材と研究体制を活かして2018年4月にはAI研究センターを設立するなど、全学的にAI関連の取り組みを強化。

また、AIの応用例として自動運転技術に関する先進的研究開発にも積極的に取り組んでいる。2017年10月より国家プロジェクトである「戦略的イノベーション創造プログラム自動走行システム/大規模実証実験」にも私立大学として唯一実証実験に参加。お台場周辺地域、および埼玉県深谷市の公道において、自動運転の実証実験を実施するなど実績を積んでいる。



## 金城学院大学とTSUTAYA プロデュースの書店が産学連 携活動をスタート



金城学院大学(愛知県名古屋市)と株式会社TSUTAYA(東京都渋谷区)が展開する「草叢(くさむら)BOOKS」新守山店は、2018年4月1日、本・映画・音楽などの文化的活動を通して地域社会の発展に貢献するために産学連携活動に関する協定を締結した。両者は、地域振興活動および書店・飲食物販事業のマーケティング調査活動などにおいて協働する。

金城学院大学と草叢BOOKSは、2017年度より国際情報学部国際情報学科の庫元正博教授が担当する授業・ゼミと連携しながら、草叢BOOKSでのマーケティング・広告企画の制作ポスター展開などを通してともに活動を行ってきた。

これらの活動を契機に、2018年度に地域で行うイベントや商品開発において企画・運営をともに行うこととし、さらに文化的な活動を通じて地域に根ざした活動を深めていくことを目的に協定締結に至った。

産学連携の取り組みの第一弾として2018年4月29日には、庫元教授が顧問として活動する「広告研究会」がダンス・音楽祭を企画。学生の視点を取り入れた書店空間での新たな過ごし方提案として、「草叢FUN SUNDAYS」を草叢BOOKS新守山店にて開催した。

また、翌日4月30日には「4.30 SUPER UPSTAIRS FEAT.TINA TAMASHIRO」と題して、女優として活躍中であり女性誌「ViVi」(講談社)

のモデル・玉城ティナさんを招聘。イベントは学生が企画・運営を行い、玉城ティナさんとともにミニファッションショー&トークショーにも出演した。

今後も金城学院大学と草叢BOOKSは、産学連携活動を積極的に行い、発見・出会いのある新たな書店体験や、学生と書店が生み出す文化事業を通じて地域活性化を目指す。

## 金沢星稜大学が2017年卒業生 の就職実績を公表



CDP(難関試験突破プログラム)など手厚い就職支援に定評のある金沢星稜大学(石川県金沢市)が2017年度卒業生の就職実績を公表した。就職希望者数ではなく、卒業生の数に対する就職者の数で表す実質就職率は94.7%を記録(留学生は除く)。全国平均よりも約20パーセントも高い就職実績を達成した。

特に注目したいのが日本銀行への就職実績で、2014年度に短期大学部卒、2015年から2017年度卒まで経済学部卒の学生が毎年採用されており、2018年度卒業見込みの経済学部の学生も採用が決まっている。こうした背景には、女子学生向け難関企業突破プログラム「星稜女子力MOON SHOT講座」をはじめとする複数の就職支援プログラムや、学生の人柄まで考慮した丁寧なマッチングを行う進路支援課の存在があるという。

2018年度も、セブ島での語学力強化を目指す「MOON SHOT abroad!! 2018」や、ロシア・ウラジオストクへの船旅を通じて社会人に必要な課題解決能力を鍛える「ほし☆たびウラジオストク2018」に多数の学生の応募があり、8月の実施に向けて学内選考が進んでいる。

7月14日から行われるオープンキャンパスでは、模擬授業やキャンパス

ツアーなどに加え、就職支援プログラムについても説明が行われる予定。参加希望者は申し込みフォームより事前に申し込みが必要となっている。

## 日本学生支援機構の給付型奨 学金が本格スタート、2018 年度は1万8,566人



日本学生支援機構の給付型奨学金に2018年度、全国1万8,566人が採用されたことが分かった。高校などを通じて決定した採用候補者2万1,139人のうち、大学などに進学して所定の手続きを終えた学生全員を採用しており、採用者には月額2~4万円が支給される。

日本学生支援機構によると、採用者の内訳は大学の学部学生が1万2,172人、短期大学生1,691人、高等専門学校生87人、専門課程の専修学校生4,616人。採用者全体のうち、516人が18歳時点で児童養護施設に入所していた人や里親のもとで養育されていた人ら社会的養護の必要な学生に該当した。

給付型奨学金は意欲や能力があるにもかかわらず、経済的な理由で大学などへの進学を断念せざるを得ない学生を支援する制度で、2017年度に創設された。2017年度は先行実施として2,503人が採用され、2018年度から本格的なスタートになる。

1カ月当たりの支給額は、自宅通学生が国公立進学で2万円、私立進学で3万円。自宅外通学生が国公立3万円、私立4万円。このうち、社会的養護の必要な学生は初回支給時に別途24万円が給付される。ただし、進学先が国立で授業料全額免除になれば、自宅通学生0円、自宅外通学生2万円に減額となる。

## 大学入学共通テスト、11月に 思考力問うプレテストを経て 年明けに最終結論

大学入試センター試験に代わって2020年度から導入される大学入学共通テストについて、大学入試センターは思考力や表現力を試す問題作成の方向性を公表した。これに基づき、11月にプレテスト(試行調査)を行ったうえで、最終結論を2019年初めに明らかにする。

大学入試センターによると、国語、数学は従来からのマークシート式に加え、記述式を導入する。国語の記述式問題はテキストの内容を把握、解釈することや要旨を端的にまとめ、分かりやすく記述することを求める。小問が3つあり、記述量は20~30字、40~50字、80~120字とする。

数学は数学Iで記述式を3問出題し、問題解決の方略を端的に記述させる内容とする。英語は民間試験を活用して「話す、書く」を測る一方、「読む、聞く」はマークシート式でも見ることにした。地理歴史、公民、物理、化学など他教科は多面的に考察する問題を出す。

プレテストは2017年11月に全国の高校など1,889校の協力を得て第1回を実施したが、2018年11月に第2回を開催し、今回公表した方向性でスムーズに試験ができるかどうか検証を進める。分析結果の公表は2019年1~3月を予定している。

2回目のプレテストはセンター試験を実施するすべての会場を使い、高校2年生以上の計10万人程度が参加する予定。会場運営についてもあらためて検証する。



日本の大学・教育関連専門のニュースサイト

# 大学ジャーナル

UNIVERSITY JOURNAL

ONLINE

その他の詳しい大学関連ニュースは

大学ジャーナルオンライン

SEARCH



@univjournal



大学ジャーナルオンライン

# 健康と食と栄養に関わる実践知と学術知の融合を

## ホスピタリティ産業界の中核を担う高度専門人材を養成

日本文化の拠点・京都で、専門学校4校(京都栄養医療専門学校、京都調理師専門学校、京都製菓製パン技術専門学校、キャリアールホテル旅行専門学校)を運営する学校法人大和学園は、独自の「taiwa流職業型実学教育」を大学教育に活かすべく、来年度、「京都専門職大学」の開学を予定しています。実践栄養調理学部と栄養マネジメント学科と和食ビジネス学科の2学科を配し、高度な実践力と、新たな事業を創出する創造力を身につけ、高い職業倫理感を備えた(栄養士)、管理栄養士、調理師の資格を持つ専門職業人の養成を目指します。学長予定者の田中誠二先生に京都専門職大学にける思いや、その目指すところ、将来構想についてうかがいました。

ディキルー大学

大和学園 京都専門職大学(仮称、設置認可申請中)

### 京都発、日本初の専門職大学開学へむけて

来年度からスタートする専門職大学制度は、学術研究のアカデミックラインと職業教育のプロフェッショナルラインの両輪で、大学教育の中でしっかりと高度専門人材を養成するというものであり、1931年の創立以来、一人の和の広がりや大きく、もって人類の福祉増進に寄与する」という建学の精神の下、職業教育を通じてホスピタリティ分野で活躍できる人材を輩出するとともに、地域社会の産業の振興に貢献してきた本学園としては、大いに共鳴するところがあり、手を挙げさせてもらいました。産学公連携で、職業の実践知と学術知を融合させることで、これまでの取組に厚みを持たせ、新しい時代の職業教育を展開できるのではないかと考えました。

両者の融合には、やはり学術知がしっかりと形成されていることが前提となり、やはり大学の仕組みに負うところが大きいと思うから



学校法人大和学園理事長  
(京都専門職大学学長予定者)  
**田中 誠二 先生**

#### Profile

1957年京都市生まれ。1981年コーネル大学ホテル経営学部卒業。1984年コロンビア大学経営大学院修士課程修了(M.B.A.)。2008年学校法人大和学園学長。2013年 同学園理事長。2019年京都専門職大学学長就任予定。(一社)全国栄養士養成施設協会 副会長、(公社)全国調理師養成施設協会 副会長。(一社)京都府専修学校各種学校協会 会長、京都府私立学校審議会委員、京都文化芸術都市創生審議会委員。

本学園は、人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにするホスピタリティ産業、具体的には、栄養医療、福祉、調理、製菓、製パン、食育、ホテル、ブライダル、ツーリズム分野の職業人を養成してきましたが、この度はその中から、食に係る分野を選びました。食は生きることを支えるものであり、いついかなる時も人間の活動とは切っても切り離せないものです。中でも、超高齢社会、人生100年時代を迎え、わが国では、健康・栄養を通じて誰もが生き生きと健康に暮らす健康長寿社会に注目が集まっています。世界的に見てもこれらは大きなテーマになっていて、今のわが国では数少ない成長産業、注目産業でもあります。



理と職業に対する使命感を明確にもち、それを生涯にわたって高め、人や地域社会に還元していきたいという気持ちを持つこととす。

**栄養マネジメント学科と和食ビジネス学科からスタート**

栄養マネジメント学科の定員は60名、和食ビジネス学科の定員は30名とし、京都栄養医療専門学校(管理栄養士科(定員40名))は廃科します。

栄養マネジメント学科が目指すのは、管理栄養士の資格を取得してさらにキャリアを積み重ねていきたいという学生の集まりです。

和食には、地域文化をしっかりと

と形成し、それを核として人々をつなぎ地域の連帯を創っていく力もあります。2022年に文化庁が移転してくる京都は、文化、学術、自然が融合して和食を支えている土地でもありますから、こうしたバックグラウンドについても学んでほしいと考えています。

資格取得で終わるのではなく、事業や業務をマネジメントし、改善や革新を継続的に起こしていく力を育成するの専門職大学の特色です。さまざまな経営資源ヒト・モノ・カネ・情報を活用しながら組織や地域の課題を解決する、あるいは企業の経営目標の達成をサポートする人材を育てるといこととす。栄養マネジメント学科では、マネジメント能力を持った管理栄養士の地域包括ケアシステムにおける活躍や、和食ビジネス学科では、フードサービス事業において繁盛店を創出し、自ら運営するなど、店舗運営のあらゆる工程に精通した人材を目指します。

働き方改革の実現というテーマもあり、生産性が低いとされるわが国のフードサービス産業において、効率を高めながら、質を落とさず顧客満足度を高めていく、落とさず顧客満足度を高めていくにはどうすればいいか、優秀な人材がホスピタリティ産業やフードサービス産業に定着してもらえるような社会的な仕組みが構築できるよう、従来以上に産業界と連携していきたいと思っています。

卒業後は病院管理栄養士など従来型のキャリアを目指すだけでなく、個人や集団、あるいは地域の特性に合わせて栄養管理や食育を推進する人材を育てることで、既存の大学や専門学校との差別化を図りたいと思っています。たとえば、地域包括ケアシステムの中で、医師や看護師、福祉・介護など様々な専門職が連携して、住民一人ひとりに対してさまざまなサービスを提供する際、そのマネジメントに係わり、リーダーシップを発揮して、中核として多職種と連携し健康長寿社会を支える一員となるというのもその一つです。

和食ビジネス学科では、専門知識と技能や技術を身につけ、調理師資格を取得するだけでなく、和食を学術的に追究し理解を深め、さまざまな地域や世界に和食・日本の食文化を普及する専門人材の養成を目指します。和食はユネスコの無形文化遺産に登録されただけでなく、昨年6月には文化芸術基本法の改正に伴い、はつきりと文化として位置づけられ、保存から継承・活用の時代へ入りました。また和食は、海外からの外国人観光客が、2020年には年間4千万人に達し、彼らによる消費が8兆円とも予想される中、その主軸でもあります。

和食には、地域文化をしっかりと

防・住まい・生活支援サービスなどの包括的な支援やサービスを提供する。地域包括ケア」の概念は共通で「システム」は各自自治体や、地域の実情・特性に合わせて独自に構築することとなる。

**実務家教員と産学公連携で高度な実践力を身につける**

専門職大学の大きな特色といえる企業等での実習、特に4年制で20単位(600時間)以上の履修が要件とされる産学公連携による臨地実務実習ですが、連携先としてはすでに、栄養マネジメント学科では保健センターはじめ、健康産業施設、アスリート施設、企業給食、食品関連企業、学校、保育園、病院など60箇所から、和食ビジネス学科では料亭、割烹、仕出し、ホテル、旅館、福祉施設、食品スーパー、卸売市場など30の施設から受入れの承諾を得ています。またそこには、現場経験のある実務家教員を配し、学生一人ひとりのニーズに応じた親身な指導を実習施設と連携して行う予定です。ちなみに2学科平均で教員一人に対する学生数は11.9人と、私立大学の平均よりもかなり少なく、きめ細かな指導を行う体制を敷いています。

入学者は栄養マネジメント学科では高校新卒者が中心になると予想していますが、今後は食物栄養系のコースなどがある専門学科のある高校や総合学科高校との高大接続もさらに図っていき、和食ビジネス学科では、高校新卒者だけでなく、社会人の学び直し、学び重ねる体制を整えます。将来は3年次編入枠を設けて、2年制調理師養成施設の卒業生にも門戸を開く予定です。

留学生の受け入れにも積極的に取り組みます。海外では和食がブームになっていますから、国の「海外における日本料理の調理技能認

定制度」を活用するなどして、海外の日本料理技術者の育成にも貢献したいと考えています。また大学という枠組みを活かして、これまで難しかった日本にはない海外の食関連の高等教育機関と、単位互換などで連携し、世界的なネットワークの下で健康・食・栄養を追究、探求する専門人材を育てていきたいと思っています。

専門職大学の設立の趣旨でもある日本の成長産業分野を支える人材の養成という役割は、とても大きいと考えています。その期待に応える成果を出し、将来は専門職大学院の設置や学部学科の増設なども視野に入れ、さらに発展進化させたいと思っています。

振り返れば本学園は、京都調理師専門学校と京都栄養専門学校(現・京都栄養医療専門学校)が、専修学校制度発足と同時に京都で初めて専門学校として認可されました。京都調理師専門学校開校後ははしばらく、ホテルをはじめ飲食業の多くは専門学校卒業の調理師の採用に消極的でした。しかし今や、調理の現場のみならず料理長やホテルの支配人にも専門学校出身者が多い。また、京都栄養医療専門学校管理栄養士科は、専門学校としては全国で初めて4年制の管理栄養士養成課程として認可され、国家試験の合格率も高い実績を挙げています。

今、京都初の専門職大学の開学に向けて、期待に胸を弾ませるとともに、ここの教育の成果、卒業生に対する社会、産業界からの評価が専門職大学の今後を占うと考え、あらためて身を引き締まる思いです。

※1 高齢者が可能な限り住み慣れた自宅や地域で安心して自立した生活を営めるよう、医療介護予防

※2 海外において日本食・食文化と日本産農林水産物・食品の魅力が適切かつ効果的に発信するため、海外の外国人日本食料理人の日本料理に関する知識及び調理技能が一定のレベルに達した者を、民間団体等が自主的に認定できるよう、一定の要件をガイドラインとして定めたもの。

和食ビジネス学科では、専門知識と技能や技術を身につけ、調理師資格を取得するだけでなく、和食を学術的に追究し理解を深め、さまざまな地域や世界に和食・日本の食文化を普及する専門人材の養成を目指します。和食はユネスコの無形文化遺産に登録されただけでなく、昨年6月には文化芸術基本法の改正に伴い、はつきりと文化として位置づけられ、保存から継承・活用の時代へ入りました。また和食は、海外からの外国人観光客が、2020年には年間4千万人に達し、彼らによる消費が8兆円とも予想される中、その主軸でもあります。

和食には、地域文化をしっかりと

卒業後は病院管理栄養士など従来型のキャリアを目指すだけでなく、個人や集団、あるいは地域の特性に合わせて栄養管理や食育を推進する人材を育てることで、既存の大学や専門学校との差別化を図りたいと思っています。たとえば、地域包括ケアシステムの中で、医師や看護師、福祉・介護など様々な専門職が連携して、住民一人ひとりに対してさまざまなサービスを提供する際、そのマネジメントに係わり、リーダーシップを発揮して、中核として多職種と連携し健康長寿社会を支える一員となるというのもその一つです。

和食ビジネス学科では、専門知識と技能や技術を身につけ、調理師資格を取得するだけでなく、和食を学術的に追究し理解を深め、さまざまな地域や世界に和食・日本の食文化を普及する専門人材の養成を目指します。和食はユネスコの無形文化遺産に登録されただけでなく、昨年6月には文化芸術基本法の改正に伴い、はつきりと文化として位置づけられ、保存から継承・活用の時代へ入りました。また和食は、海外からの外国人観光客が、2020年には年間4千万人に達し、彼らによる消費が8兆円とも予想される中、その主軸でもあります。

和食には、地域文化をしっかりと

**実践栄養調理学部**  
60名・男女 4年制

**栄養マネジメント学科**

食や健康産業でリーダーシップやマネジメント能力を発揮し、多職種と連携して人々の健康づくりに貢献できる管理栄養士を養成

【取得資格】 管理栄養士国家試験受験資格など  
【取得学位】 栄養マネジメント学士(専門職)  
※予定であり、変更する場合があります。

**和食ビジネス学科**  
30名・男女 4年制  
3年次編入学10名

調理と科学の視点から和食を追究し、和食の普及を通じて人々の健康づくりに貢献できる和食の専門職業人を養成

【取得資格】 調理師免許など  
【取得学位】 和食ビジネス学士(専門職)  
※予定であり、変更する場合があります。

**オープンキャンパス・学校説明会**

開催中!

7/21(土)  
7/28(土)  
8/5(日)  
8/19(日)

くわしくはオープンキャンパスで!  
(開催時間 11:00 ~ 15:30)  
他にも日程多数  
詳細・申込はホームページから

日本で唯一! 栄養・調理分野の専門職大学

**京都専門職大学** (仮称) [設置認可申請中]

嵯峨キャンパス(栄養マネジメント学科) 〒616-8376 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺瀬戸川町 18-39  
四条キャンパス(和食ビジネス学科) 〒604-8872 京都市中京区四条通千本角

TEL: 0120-144276 (専門職大学設置準備局(嵯峨キャンパス内))  
URL: https://univ-kyoto.ac.jp/

学校法人 大和学園

QRコード (HP)

地図

ディキラー大学

敬心学園 東京専門職大学(仮称、設置認可申請中)

# ダイバーシティ社会を推進できる 実務リーダーを育成



学校法人敬心学園 大学開設準備室 事務局長 宮田 雅之氏

### Profile

慶応義塾大学商学部卒業、慶応義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(MBA)。三菱総合研究所、日本総合研究所等を経て、学校法人敬心学園に入職。現在、大学開設準備室 事務局長として、東京専門職大学(仮称)の開学準備に従事。栃木県立栃木高校出身。

来年度から始まる専門職大学にトップバッターとして手を挙げた一つが、都内で保健・医療・福祉分野の専門学校5校を運営する学校法人敬心学園。来春、東京都江東区に理学療法士、作業療法士を養成するリハビリテーション学科と、介護福祉士を養成する福祉介護イノベーション学科の2学科からなる「東京専門職大学」(仮称)を開設予定です。同大学開設準備室の宮田雅之事務局長に、その意気込みや新しい大学の特長についてお聞きしました。

## リハビリテーションと介護福祉からスタート

学校法人敬心学園は、1984年の創設以来、30年以上にわたり職業人養成にかかわり、専門学校教育に対しては強い思い入れを持ってきました。今回の高等教育における新たな制度発足に当たり、これまで蓄積してきた職業人養成の経験とノウハウが新しい器の中で活かされると、真っ先に手を挙げさせてもらいました。新制度の第一号ということで、現在、産みの苦しみはあるものの、バイオニアとしてのやりがいを感じています。

リハビリテーション学科は昼間、夜間の2コースで、それぞれ定員が80名と40名、福祉介護イノベーション学科は

2学科とも、国家資格の取得を目指すことに加え、「職業人基礎力」(基礎科目)、「職種連携」(国際的な意識の醸成)、「専門性の深化」(以上職業専門科目)、「専門性の拡大・展開」(隣接他分野)、「事業化力」(経営分野) (展開科目) の6つのテーマからカリキュラムを

障がい者のスポーツ力を高めることを目的とするのではなく、スポーツやレクリエーション活動が障がい者の社会参加のプラットフォームとなり、ダイバーシティ社会の実現に寄与するものと捉え、障がい者や高齢者のスポーツ大会の運営などに関わる団体等との連携を図ります。

「専門性の拡大・展開」では、隣接する他分野にも視野を広げることを目的に、たとえば「高齢者は化粧をすると元気になる」というテーマについて、アカデミックな立場から、実践を通じてそれを実証していきます。企業の関心も高く、専門職大学ならではの取組の一つだと思えます。

「事業化力」は、新しい事業を開拓したり、起業したりする力を身につけることを目的に、「実務リーダーのための経営戦略」「実務リーダーのための財務会計」などの経営実務に関する科目から、「医療福祉イノベーション経営」などの医療福祉に関する経営実践に係る科目を揃えます。もちろん医療福祉分野に限らず、

4年次には全員参加で、企業や地域のための事業をプレゼンする「ビジネスプランコンテスト」も実施します。他の専門職大学、一般の大学、専門学校にも参加を呼びかけ、優秀な取組については表彰するだけでなく、企業や自治体を巻き込んで事業化することも計画しています。

もう一つユニークなのが、1年次で行う「職業人基礎力」。大手小売業と連携し、その社員研修用のマナー・接客プログラムを取り入れるなど、職業人としての基礎力を養います。この科目には、将来、医療福祉施設で活躍するのにも

活躍するイメージをつかんでもらうという狙いもあります。医療福祉施設以外の場で、「医療福祉の知識・スキルを持つたビジネスパーソン」として活躍するイメージをつかんでもらうという狙いもあります。

教員には、大学教員経験者や本学園の専門学校の教員に加え、企業や施設で実務経験のある者を積極的に配置。また、企業の一線で活躍中の専門家を非常勤講師やゲストスピーカーとして招き、施設や企業内での実習の効果を一層高めます。

教員の業績を、研究論文だけでなく、企業との連携や、社会への発信なども評価するのは、これまでの大学にはなかった点。また教員と職員が対等な立場で真摯な議論を重ねるのも、これまでの大学文化とは異なると思います。

また、敬心学園では学びの場を広げ、充実させるためにグループ内に福祉施設や保育施設を設置してきましたが、将来的には医療施設を加えることも視野に入れています。

本学の受験生への最大のアピールポイントは、業界等との連携です。やはり多くの受験生にとっては、どんな職業に就くか、どんな企業に就職するかが最大の関心事で、それが大学の価値を決める大きな要因だと思っています。

そのためには企業との連携を一層強固にし、学びの場を確保するとともに、就職先の拡大に注力していきたいと考えています。

受験生には、「医療福祉を学びたい」という漠然としたイメージではなく、具体的に医療福祉の学びを活かして何をしたいのか、ある程度職業について調べ、少しでも具体的なイメージを持つてほしいと思います。本学では専門分野の勉強に加えて、施設・企業での長時間の実習がありますから、「とりあえず大学へ進学」という動機だけでは学ぶモチベーションの維持に苦労する

と思います。反対に、目的意識が明確で、やる気のある人には十分に伝えられるだけのメニューを、ふんだんに提供したいと考えています。

学園の将来構想としては、まず2学科で実績を作り、それを基に、大学院の設置も含め、これまで取り組んできた保健・医療・福祉分野とともに、新たな分野も取り入れた専門職業人材養成の総合大学を目指したいと考えています。東京専門職大学(仮称)というシンプルなネーミングは、その可能性にかける私たちの意気込みを表すものでもあるのです。

「実務リーダーを育成する独自のカリキュラム」

「専門性の拡大・展開」

「事業化力」

「職業人基礎力」

「職種連携」

「専門性の深化」

「以上職業専門科目」

「展開科目」

「隣接他分野」

「事業化力」

「経営分野」

「展開科目」

「職種連携」

「国際的な意識の醸成」

「基礎科目」

「職業人基礎力」

「基礎科目」

「職種連携」

「国際的な意識の醸成」

「基礎科目」

「職業人基礎力」

# 大学ジャーナル

FREE

vol.130 7月号

第23巻2号・通巻130号

発行所:くろむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2  
TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374  
E-mail KYA01311@nifty.com

## Highlight

今号も、前号に続きW表紙!

## 特別企画 デキル!大学

- 02 東京専門職大学
- 03 京都専門職大学

### デキル!学部

- 08 神戸松蔭女子学院大学教育学部
- 07 青山学院大学コミュニティ人間科学部
- 06 中央大学国際経営学部
- 05 大手前大学国際看護学部
- 04 京都産業大学国際関係学部

# 大学「のこれからに 挑戦する、 新しい大学の形を」

## 2019年度の専門職大学制度のスタートによせて

55年ぶりとなる新しい大学が、来春スタートします。専門職大学<sup>※1</sup>です。企業との連携により、理論に裏付けられた高度な実践力を持ち、変化に対応する応用力、創造力を発揮できる専門職業人材の養成を目指す新しい種類の大学で、2003年に、『理論と実務の架橋』を目指してスタートした専門職大学院の学部版といえます。

2019年度の開設に向けて、専門学校を運営する9法人から13校の設置認可申請が国に対して行われており、2020年度以降も各地で開設に向けた動きが進むと見込まれます。少子化が進み、大学再編の足音も聞こえる中、新たな学校種が求められる背景や、その狙いについて、文部科学省高等教育局長・義本博司氏にお聞きしました。

※1 専門職短期大学(2年制または3年制)も同様に制度化されたが、以下は専門職大学(4年制)を念頭に説明している。



文部科学省高等教育局長 義本 博司氏

1984年文部省入省、2008年高等教育局大学振興課長、2009年同高等教育企画課長、2013年大臣官房審議官(初等中等教育局担当)、2014年大臣官房審議官(高等教育局担当)、2016年大臣官房総括審議官、2017年高等教育局長(兼)内閣官房人生100年時代構想推進室長代行補。

んだ技術や身につけた能力が陳腐化しやすくなるとともに、個々の職業人に求められる能力が高度化してきています。どの業種、分野でも何らかのイノベーションを起こしていかなければ生き残れない。自分のよって立つ分野を牽引しようと思えば、専門知識・技術だけでなく例えは経済やビジネス、マーケティングを学んで、その成長戦略を幅広い視点から考える能力も求められるのです。また、人生100年時代とも言われ、社会に出た後も学び続ける・学び直す必要性がますます強まることに備えて、学びに向かう姿勢や態度、幅広い視野の下で自分の頭で考える力なども養っておきたい。

現在の専門職大学の教育は、国家資格などの取得や特定の技術についての即戦力の養成に強みを持っています。カバーする分野は、主に理美容、保育、医療・介護・福祉、サービス産業などですが、たとえば今、介護分野を例にとると、人手不足等から介護ロボットの導入が進むなど働き方が変わりがつあり、介護そのものの知識・技術だけでなく、異なる分野、専門についても視野を広げ、知識を持つことが求められるようになっていきます。国家試験に合格することは大事ですが、それだけで安心はできない。技術革新のスピードや、産業構造の転換が速まり、学

びに加えて、職業能力を高めたり、実践的なスキルを磨いたりして、専門職業人の養成に力をいれる大学がもっと増えた方が良いのではないかと。インターンシップやPBL(課題解決学習)がここ10年ほどで広がってきましたが、これまでの大学教員の多くは学問を追求してきた人たちですから、カリキュラムもアカデミック志向になりがちです。しかし、観光系の学部・学科を例にとれば、学問としての「観光学」を極める大学があっても良いのですが、理論だけでなく、ホテルや鉄道会社などが求めているマーケティングやアセットマネジメントについて学んだり、航空券の発券システムなど現場の実務についても学ぼうというタイプの学部・学科も求められているのではないのでしょうか。あるいは、地方の大学がその存在意義をもっと高めるには、例えば看護師養成を幹としつつ、観光や農業の6次産業化、コ・メディカルや介護福祉など、人口減少が進む地域の将来像を見通して応用力を育てる教育を行うなど、地域の産業界と連携した実践的で特色ある教育課程が作られていくことも必要ではないか。

このような議論を経て、高度な実践力と豊かな創造力を持つ専門職業人材の育成に特化した、専門職大学という新しいタイプの大学ができることになり

ました。専門職大学の教育の特徴、その将来は

専門職大学は、大学の類型として制度化されていますので、設備などの基準はおおむね大学のそれに準じますが、カリキュラムの内容や教員の基準は、既存の大学とは大きく異なるものとなっています。

例えば、専任教員のうち4割以上は、専攻分野で概ね5年以上の実務経験があり、高度な実務能力のある実務教員とし、そのうち半数以上は研究能力も併せ持つ者となっています。カリキュラムのうち40単位(約3分の1)以上は実習で構成され、そのうち20単位(600時間相当)以上が企業等での長期の実習(臨地実務実習)となります。これにより、企業等の現場での生きた最新の知識・技術と、理論の両面をバランスよく学ぶことができます。

制度創設に至るまでの議論の過程では、あえて新しい学校種を作らなくとも、これまでの大学の枠組でもできるのではないかとのご意見もありました。ただ、質の高い実践的な職業教育を行う大学の姿を制度として示すことの意味は非常に大きい。そういう意味で、専門職大学はこれまでの大学教育のあり方に対するチャレンジであり、既存の大学へのカンフル剤

でもあると考えています。新制度の成否を占うポイントとは、専門職大学を卒業した方が社会でどれだけ活躍できるかという出口での評価、そしてそれと裏表の関係になります。入口で保護者の信頼をどれだけ得られるかにかかっていると思います。規模感から言うと、即戦力となる人材育成などで専門学校の教育へのニーズは引き続きあるでしょうし、28000を数える専門学校のうち専門職大学に転換して行くのは一割もないものと思っています。

むしろ、専門職大学制度の創設と併せて、既存の大学の一部の学部・学科で職業教育を行う「専門職学部・学科」

の制度も設けましたので、既存の大学からの転換にも期待をしています。

どうなる? これからの大学、学び方にも変化が

今後、時代の変化はますます速くなるでしょう。好むと好まざるとにかかわらず、高校や大学を卒業して就職した後も、技術や環境の変化に対応するため、学び続ける・学び直すことにより、キャリアアップ・キャリアチェンジをしていくことが社会人に求められるようになります。専門職大学は、高度な実践力と豊かな創造力を兼ね備えた専門職業人材を育成する機関であり、社会人の学びの場として機能していくことが期待されます。

専門職大学は、大学の類型として制度化されていますので、設備などの基準はおおむね大学のそれに準じますが、カリキュラムの内容や教員の基準は、既存の大学とは大きく異なるものとなっています。

専門職大学は、大学のアカデミックな学びと、専門職の実践的な学びの双方の良さを兼ね備えたものです。

このように考えると、従来の専門学校よりも修業年限を増やし、周辺領域の学びも含め、幅広い知識、知見を身につけるとともに、産業界と連携して、強みである専門性、実践性を一層磨くことができる新たな高等教育機関を創る必要があると考

えたのです。一方、大学は、現在700を超える数がありますが、一口に大学といっても世界最先端の研究を行うもの、地域に根ざした人材の育成に取り組むものなど、多種多様な教育が「大学」の中に含まれるようになっていきます。そこで、多くの学生が大学卒業後に就職することを踏まえれば、アカデミックな学

びに加えて、職業能力を高めたり、実践的なスキルを磨いたりして、専門職業人の養成に力をいれる大学がもっと増えた方が良いのではないかと。インターンシップやPBL(課題解決学習)がここ10年ほどで広がってきましたが、これまでの大学教員の多くは学問を追求してきた人たちですから、カリキュラムもアカデミック志向になりがちです。しかし、観光系の学部・学科を例にとれば、学問としての「観光学」を極める大学があっても良いのですが、理論だけでなく、ホテルや鉄道会社などが求めているマーケティングやアセットマネジメントについて学んだり、航空券の発券システムなど現場の実務についても学ぼうというタイプの学部・学科も求められているのではないのでしょうか。あるいは、地方の大学がその存在意義をもっと高めるには、例えば看護師養成を幹としつつ、観光や農業の6次産業化、コ・メディカルや介護福祉など、人口減少が進む地域の将来像を見通して応用力を育てる教育を行うなど、地域の産業界と連携した実践的で特色ある教育課程が作られていくことも必要ではないか。

このような議論を経て、高度な実践力と豊かな創造力を持つ専門職業人材の育成に特化した、専門職大学という新しいタイプの大学ができることになり

ました。専門職大学の教育の特徴、その将来は

専門職大学は、大学の類型として制度化されていますので、設備などの基準はおおむね大学のそれに準じますが、カリキュラムの内容や教員の基準は、既存の大学とは大きく異なるものとなっています。

専門職大学は、大学のアカデミックな学びと、専門職の実践的な学びの双方の良さを兼ね備えたものです。

このように考えると、従来の専門学校よりも修業年限を増やし、周辺領域の学びも含め、幅広い知識、知見を身につけるとともに、産業界と連携して、強みである専門性、実践性を一層磨くことができる新たな高等教育機関を創る必要があると考

えたのです。一方、大学は、現在700を超える数がありますが、一口に大学といっても世界最先端の研究を行うもの、地域に根ざした人材の育成に取り組むものなど、多種多様な教育が「大学」の中に含まれるようになっていきます。そこで、多くの学生が大学卒業後に就職することを踏まえれば、アカデミックな学

びに加えて、職業能力を高めたり、実践的なスキルを磨いたりして、専門職業人の養成に力をいれる大学がもっと増えた方が良いのではないかと。インターンシップやPBL(課題解決学習)がここ10年ほどで広がってきましたが、これまでの大学教員の多くは学問を追求してきた人たちですから、カリキュラムもアカデミック志向になりがちです。しかし、観光系の学部・学科を例にとれば、学問としての「観光学」を極める大学があっても良いのですが、理論だけでなく、ホテルや鉄道会社などが求めているマーケティングやアセットマネジメントについて学んだり、航空券の発券システムなど現場の実務についても学ぼうというタイプの学部・学科も求められているのではないのでしょうか。あるいは、地方の大学がその存在意義をもっと高めるには、例えば看護師養成を幹としつつ、観光や農業の6次産業化、コ・メディカルや介護福祉など、人口減少が進む地域の将来像を見通して応用力を育てる教育を行うなど、地域の産業界と連携した実践的で特色ある教育課程が作られていくことも必要ではないか。

このような議論を経て、高度な実践力と豊かな創造力を持つ専門職業人材の育成に特化した、専門職大学という新しいタイプの大学ができることになり

ました。専門職大学の教育の特徴、その将来は

専門職大学は、大学の類型として制度化されていますので、設備などの基準はおおむね大学のそれに準じますが、カリキュラムの内容や教員の基準は、既存の大学とは大きく異なるものとなっています。

### 2019年度開設の認可申請があった専門職大学13校

- 平成31年度開設予定大学等認可申請一覧  
(平成29年12月)文部科学省HPより
- 国際工科専門職大学**  
【学校法人 日本教育財団】(東京・愛知・大阪)  
■東京工科学部  
■大阪工科学部  
■名古屋工科学部
  - 国際ファッション専門職大学**  
【学校法人 日本教育財団】(東京・愛知・大阪)  
■国際ファッション学部
  - 専門職大学東都学院大学**  
【学校法人 小関学院】(東京・神奈川)  
■保健医療学部
  - 東京医療福祉専門職大学**  
【学校法人 日本教育財団】(東京)  
■医療福祉学部  
■看護保健学部
  - 東京専門職大学**  
【学校法人 敬心学園】(東京)  
■医療福祉学部
  - 金沢専門職大学**  
【学校法人 国際ビジネス学院】(石川)  
■職業経営学部
  - 名古屋医療福祉専門職大学**  
【学校法人 日本教育財団】(愛知)  
■医療福祉学部  
■看護保健学部
  - 京都専門職大学**  
【学校法人 大和学園】(京都)  
■実践栄養調理学部
  - 大阪医療福祉専門職大学**  
【学校法人 日本教育財団】(大阪)  
■医療福祉学部  
■看護保健学部
  - 島根保健福祉専門職大学**  
【学校法人 仁多学園】(島根)  
■保健科学部
  - 岡山医療専門職大学**  
【学校法人 本山学園】(岡山)  
■健康科学部
  - 高知リハビリテーション専門職大学**  
【学校法人 高知学園】(高知)  
■リハビリテーション学部
  - 福岡専門職大学**  
【学校法人 福岡医療学院】(福岡)  
■保健医療学部

※上記は申請時のものであり、変更や不認可となる場合があります。